

---

---

平成22年度 原村総合計画

住民アンケート調査

結果報告書（要約版）

---

---

平成22年11月  
長野県原村



## ■ 調査概要



# ■ 調査概要

## 1 調査の目的

住民が、自分のこと、家族のこと、地域の状況をどのように捉え、どのような意識を持って生活をしているのかを調査し、村づくりに対し、何を優先して取り組むべきか等を把握することで、「人も地域も輝く緑豊かな原村」に基づいた村行政を進めるべく、平成23年度からの「第4次原村総合計画後期基本計画」の基礎資料とするため実施しました。

## 2 調査の設計

(1) 調査地域	長野県原村
(2) 調査対象	原村に在住する満18歳以上の男女
(3) 調査対象者数	700人
(4) 抽出方法	無作為抽出
(5) 調査期間	平成22年8月10日（火）～平成22年9月10日（金）
(6) 調査方法	郵送配布
(7) 調査機関	(株)サーベイリサーチセンター静岡事務所

## 3 回収結果

(1) 発送数	700人（100.0%）
(2) 回収数	248人（35.4%）
(3) 有効回収数	245人（35.0%）

※有効回収数は、回収したが記入のない（または少ない）調査票を除いて集計した数です。

## 4 報告書を見る際の注意点

- ・ 比率はすべて百分比であらわし、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、百分比の合計が100%にならないことがあります。
- ・ 基数となるべき調査数は、Nと表示しており、回答比率はこれを100%として算出しています。複数個の回答が許されている設問においては、回答比率の合計が100%を超えることがあります。



## ■ 調查結果

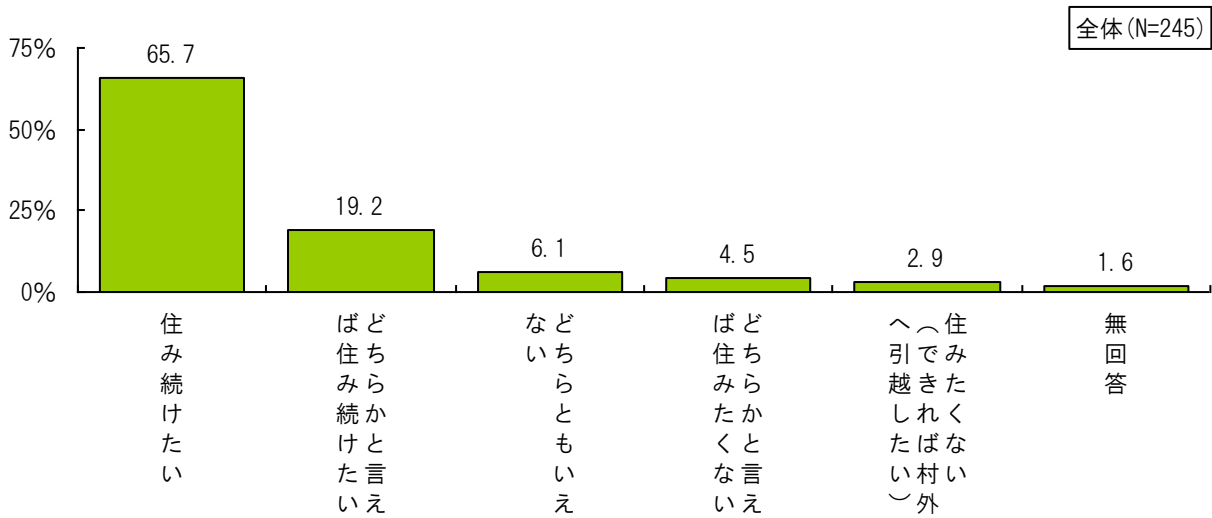




# I 原村の住民サービスや生活環境

## 1 今後の居留意向

問1 あなたは、これからも原村に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

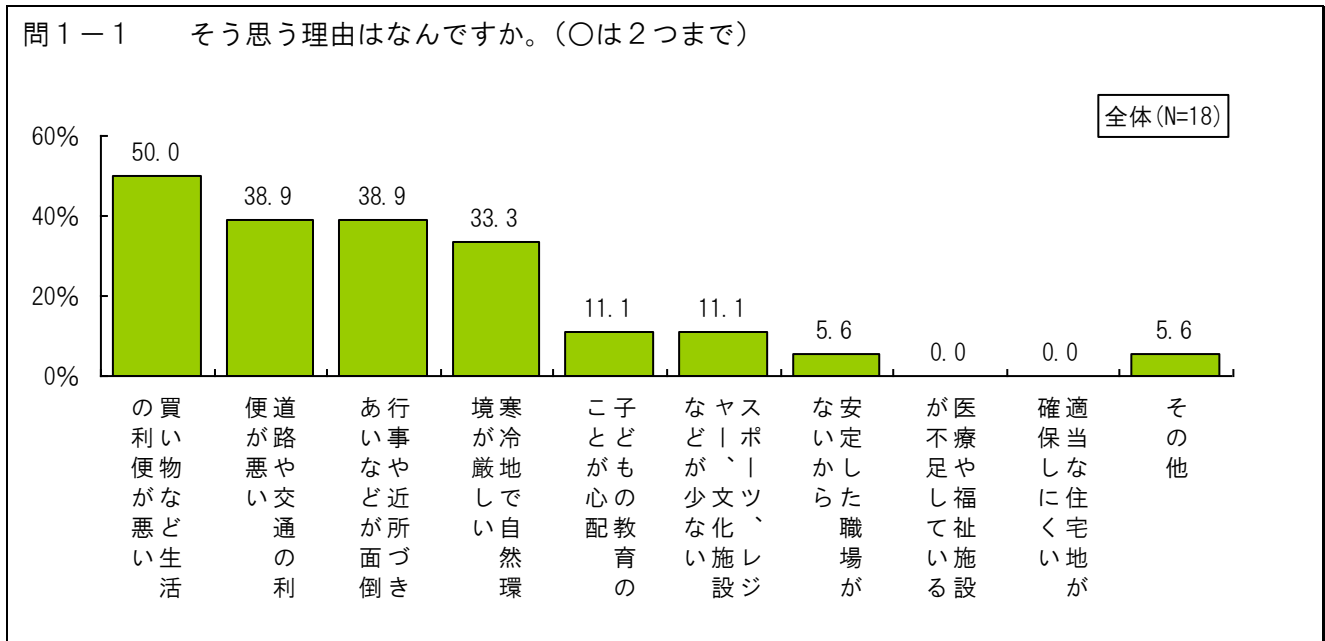


今後の居留意向については、「住み続けたい」が65.7%と突出して多く、3人に2人が回答しています。次いで、「どちらかと言えば住み続けたい」が19.2%と2割となっています。

「住み続けたい」と「どちらかと言えば住み続けたい」を合わせた“住み続けたい”は84.9%と、8割以上となっています。

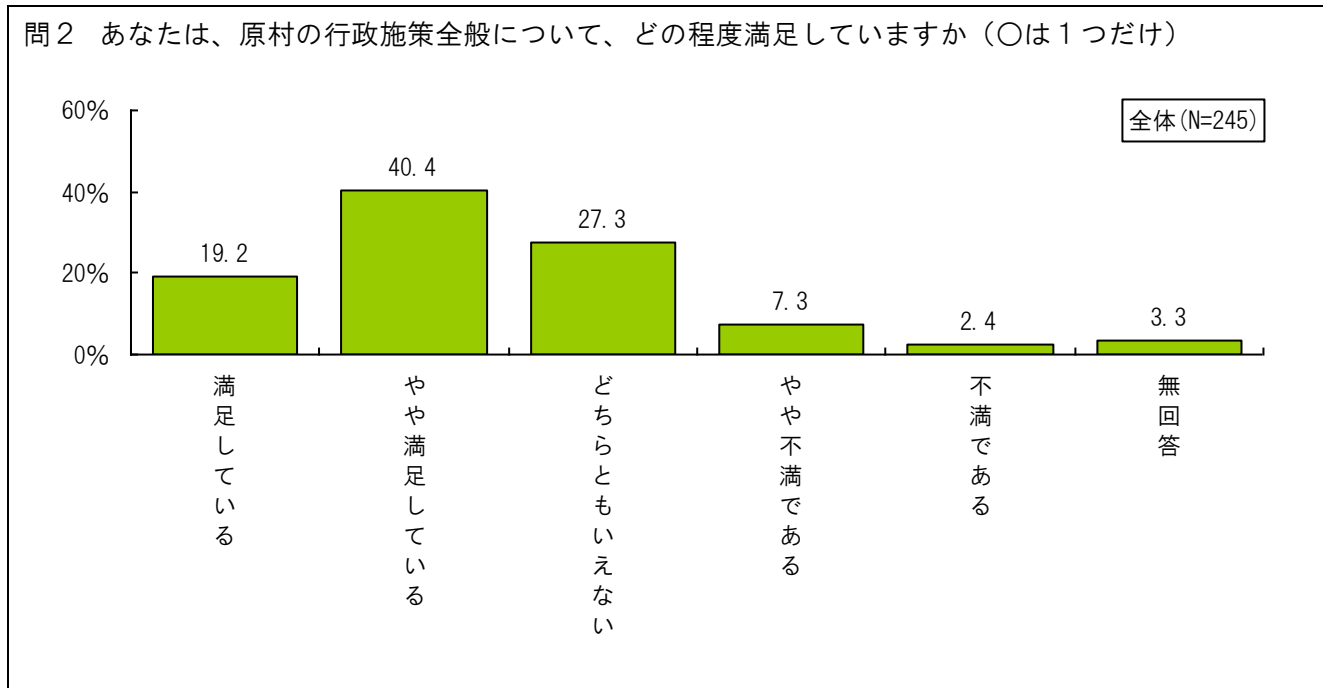
一方、「どちらかと言えば住みたくない」と、「住みたくない(できれば村外へ引越したい)」を合わせた“住みたくない”は、7.4%にとどまっています。

## 2 住み続けたいと思わない理由



住み続けたいと思わない理由については、「買い物など生活の利便が悪い」が50.0%と最も多く、半数を占めています。次いで、「道路や交通の利便が悪い」と「行事や近所づきあいなどが面倒」がともに38.9%、「寒冷地で自然環境が厳しい」が33.3%と、いずれも3割を超えています。

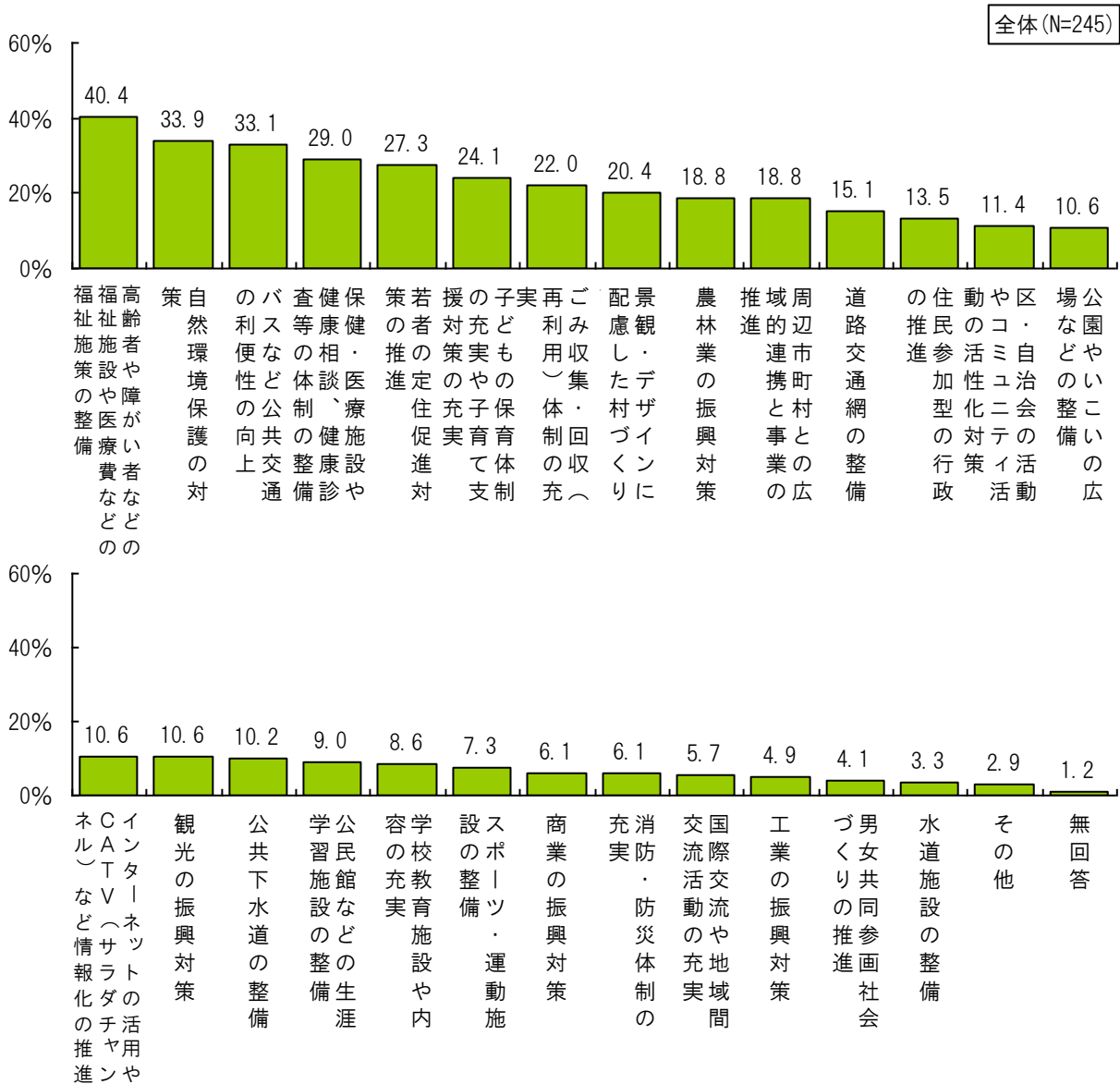
### 3 行政全般の満足度



行政全般の満足度については、「やや満足している」が40.4%と最も多く、4割となっています。次いで、「どちらともいえない」が27.3%、「満足している」が19.2%などとなっています。

#### 4 特に力を入れてほしい原村の行政

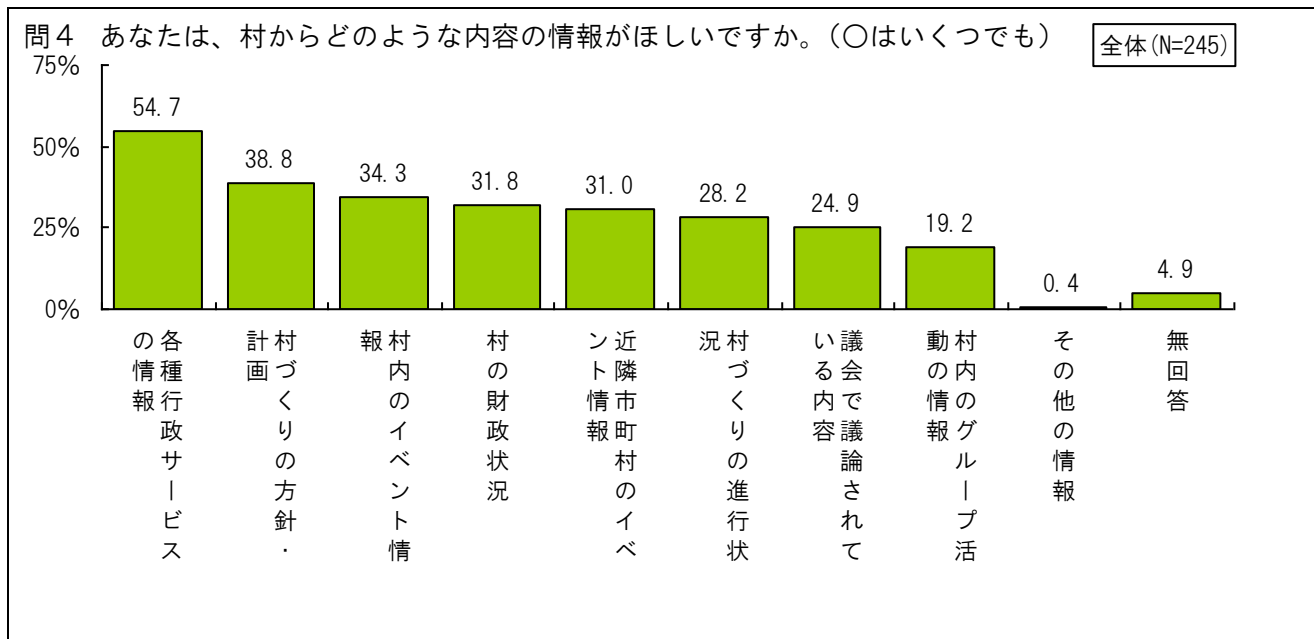
問3 原村の行政で、今後、特に力を入れてほしいと思われるのは何ですか。(〇は5つまで)



特に力を入れてほしい原村の行政については、「高齢者や障がい者などの福祉施設や医療費などの福祉施策の整備」が40.4%と最も多く、4割以上となっています。次いで、「自然環境保護の対策」が33.9%、「バスなど公共交通の利便性の向上」が33.1%、「保健・医療施設や健康相談、健康診査等の体制の整備」が29.0%、「若者の定住促進対策の推進」が27.3%、「子どもの保育体制の充実や子育て支援対策の充実」が24.1%、「ごみ収集・回収（再利用）体制の充実」が22.0%、「景観・デザインに配慮した村づくり」が20.4%と、いずれも2割を占めています。

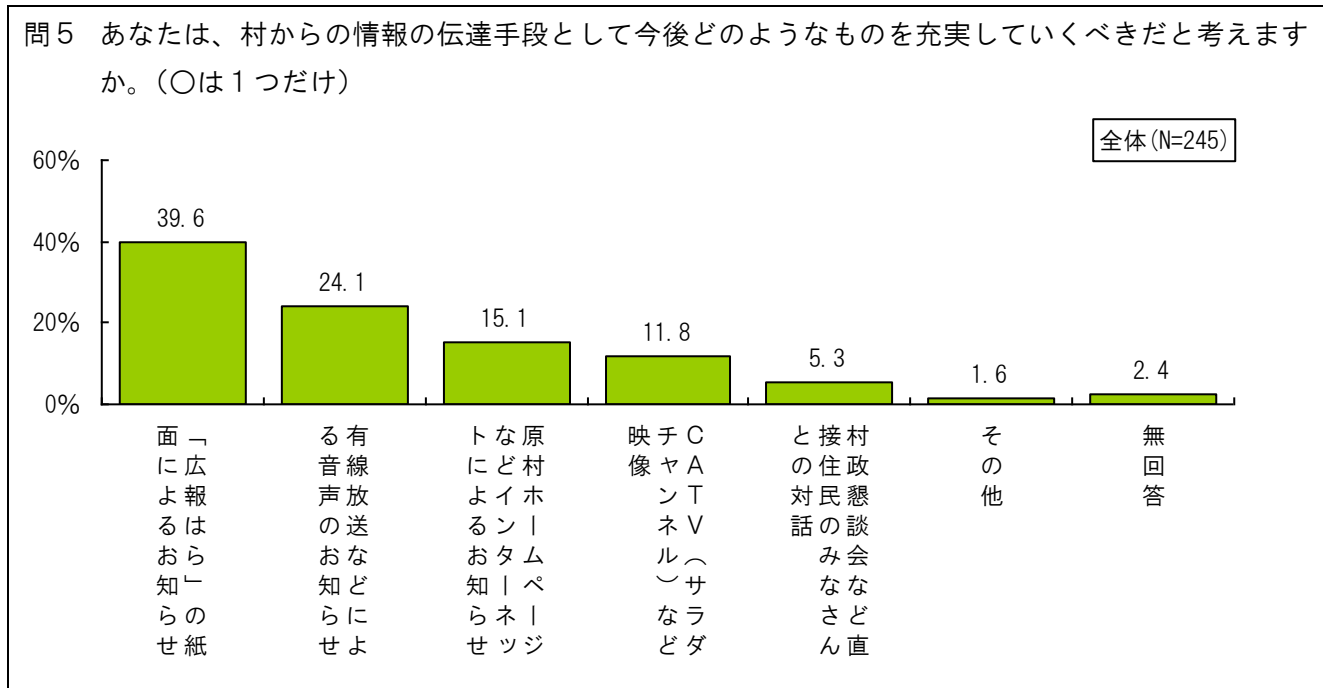
## Ⅱ 住民と役場の関わり方

### 5 入手したい原村の情報



入手したい原村の情報については、「各種行政サービスの情報」が54.7%と最も多く、半数を占めています。次いで、「村づくりの方針・計画」が38.8%、「村内のイベント情報」が34.3%、「村の財政状況」が31.8%、「近隣市町村のイベント情報」が31.0%と、いずれも3割を超えています。

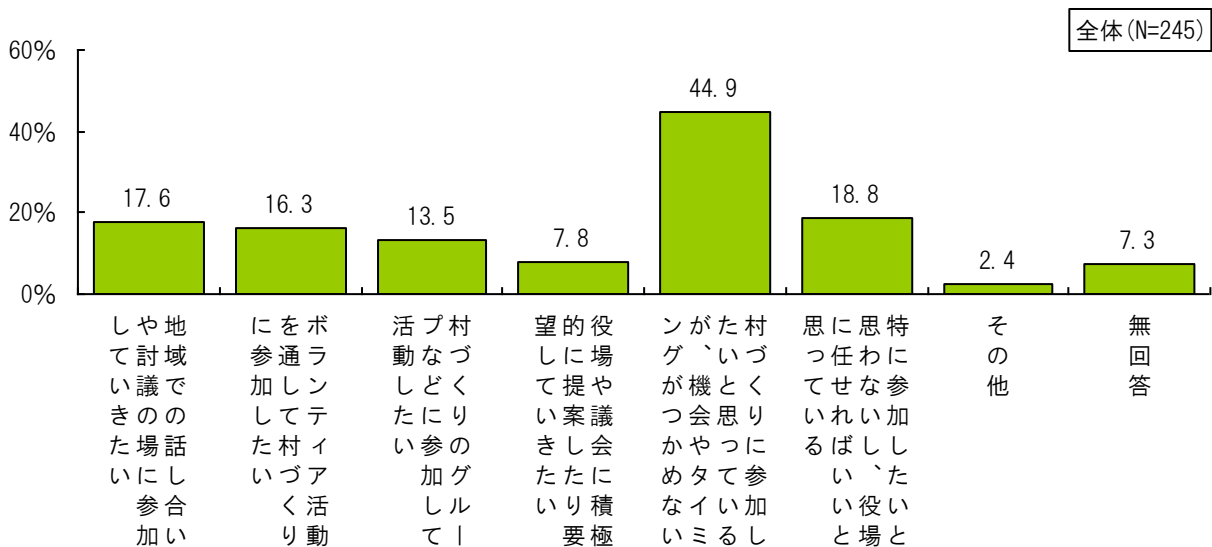
## 6 充実すべき情報伝達手段



充実すべき情報伝達手段については、「「広報はら」の紙面によるお知らせ」が39.6%と、ほぼ4割となっています。次いで、「有線放送などによる音声のお知らせ」が24.1%、「原村ホームページなどインターネットによるお知らせ」が15.1%などとなっています。

## 7 参加したい村づくり

問6 あなたは、どのような形で村づくりに参加したいと思いますか。(〇は2つまで)



参加したい村づくりについては、「地域での話し合いや討議の場に参加していきたい」が17.6%と最も多く、次いで、「ボランティア活動を通して村づくりに参加したい」が16.3%、「村づくりのグループなどに参加して活動したい」が13.5%などとなっています。

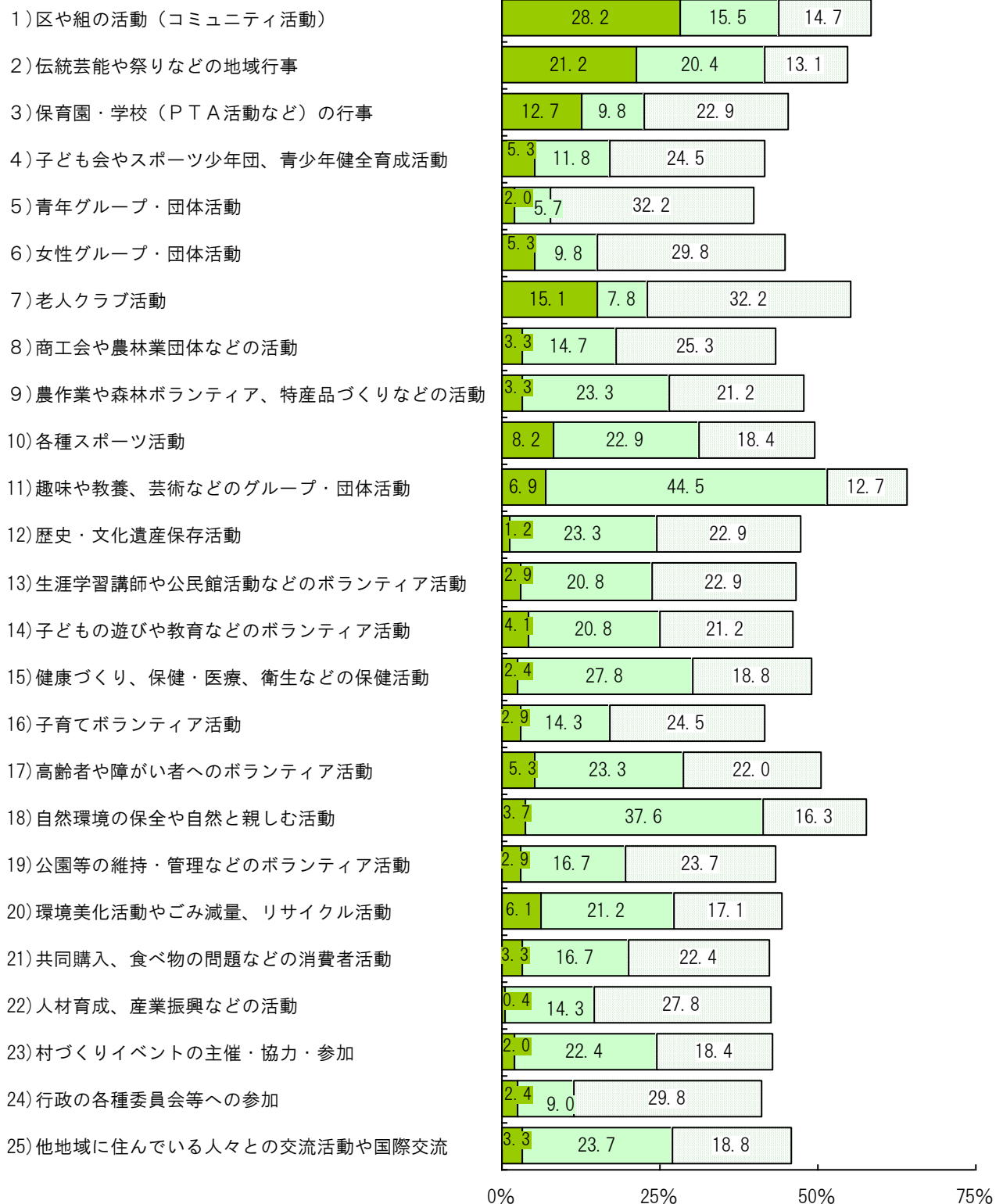
また、「村づくりに参加したいと思っているが、機会やタイミングがつかめない」は44.9%と4割を占めており、「特に参加したいと思わないし、役場に任せればよいと思っている」は18.8%となっています。

### Ⅲ 住民参画による村づくり

#### 8 村づくり活動への参加状況・参加意向

問7 村づくり活動についてお聞きします。何らかのグループや組織に加わって、村づくり活動に参加していますか。また、今後、参加してみたい活動はありますか。(〇はいくつでも)

■ 現在、参加している      ■ 今後、参加してみたい  
□ 参加を希望しない





村づくり活動への参加状況・参加意向について、「現在、参加している」は、『1)区や組の活動(コミュニティ活動)』が28.2%と最も多く、次いで、『2)伝統芸能や祭りなどの地域行事』が21.2%と、いずれも2割を超えています。

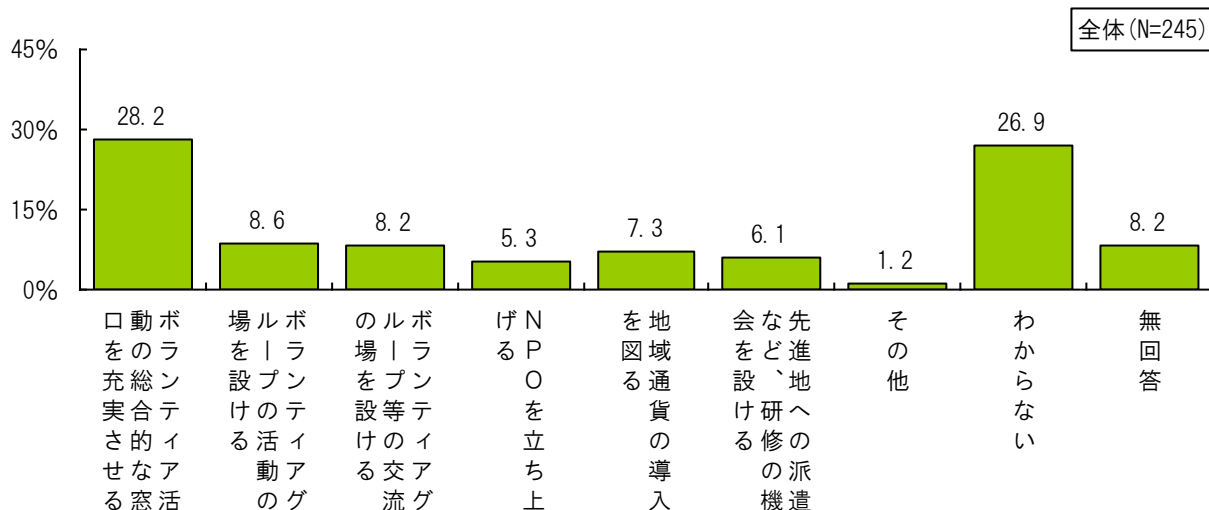
「今後、参加してみたい」は、『11)趣味や教養、芸術などのグループ・団体活動』が44.5%と最も多く4割を超え、次いで、『18)自然環境の保全や自然と親しむ活動』が37.6%などと多くなっています。

「参加を希望しない」は、『5)青年グループ・団体活動』と『7)老人クラブ活動』がともに32.2%と最も多く、3割となっています。

また、「現在、参加している」と「今後、参加してみたい」を合わせた“参加したい”は、『11)趣味や教養、芸術などのグループ・団体活動』が51.4%と最も多く半数を占めています。次いで、『1)区や組の活動(コミュニティ活動)』が43.7%、『2)伝統芸能や祭りなどの地域行事』が41.6%、『18)自然環境の保全や自然と親しむ活動』が41.3%などと多くなっています。

## 9 住民の活動を活発化するために必要なこと

問8 住民の様々な活動を活発にするため、どういったことが必要だと思いますか。(○は1つだけ)

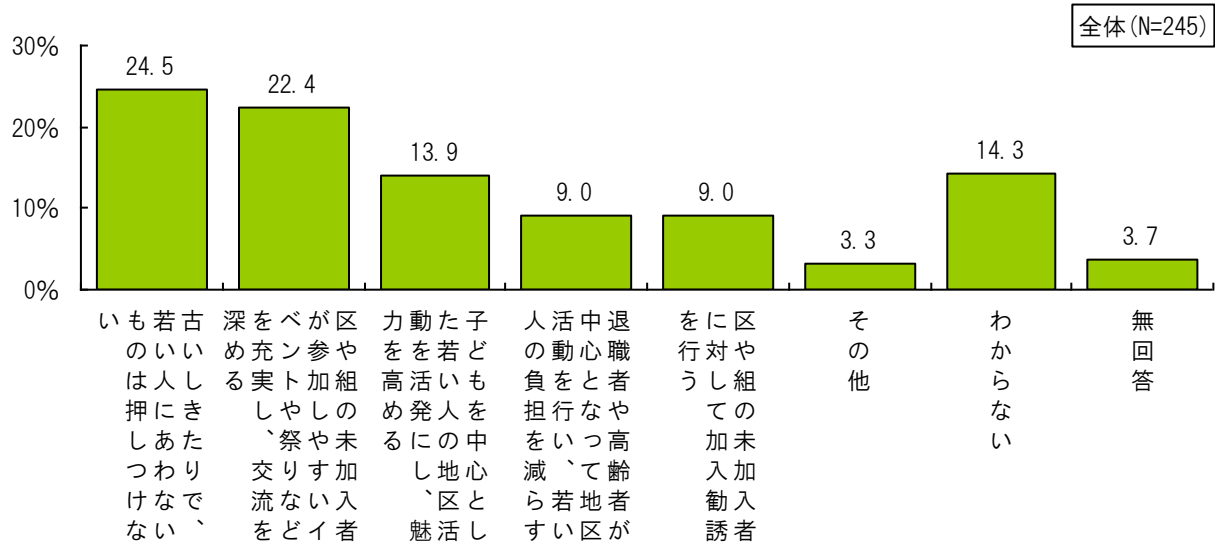


住民の活動を活発化するために必要なことについては、「ボランティア活動の総合的な窓口を充実させる」が28.2%と最も多く、3割近くになっています。次いで、「ボランティアグループの活動の場を設ける」が8.6%、「ボランティアグループ等の交流の場を設ける」が8.2%などとなっています。

また、「わからない」は26.9%と、4人に1人が回答しています。

## 10 各地区の地域活動を活発化させるために必要なこと

問9 各地区の地域活動（地域維持活動や助け合い）を活発にするためには、どういったことが必要だと思いますか。（○は1つだけ）

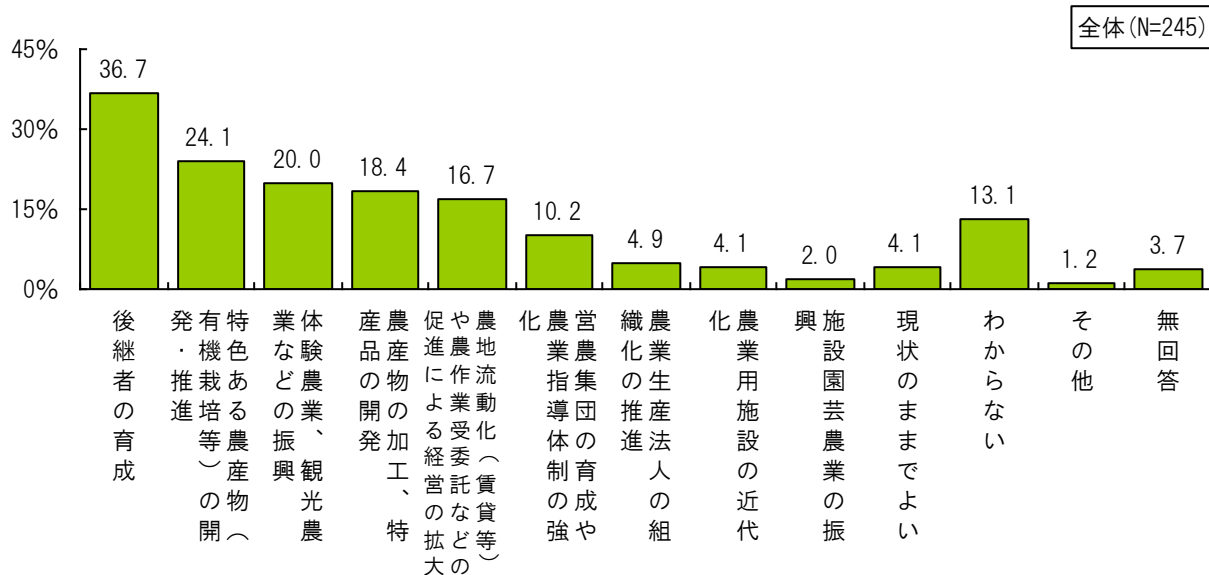


各地区の地域活動を活発化させるために必要なことについては、「古い世代の押しつけ」が24.5%と最も多く、4人に1人が回答しています。次いで、「区や組の未加入者が参加しやすいイベントや祭りなどを充実し、交流を深める」が22.4%、「子どもを中心とした若い人の地区活動を活発にし、魅力を高める」が13.9%などとなっています。

## IV 原村の産業振興対策

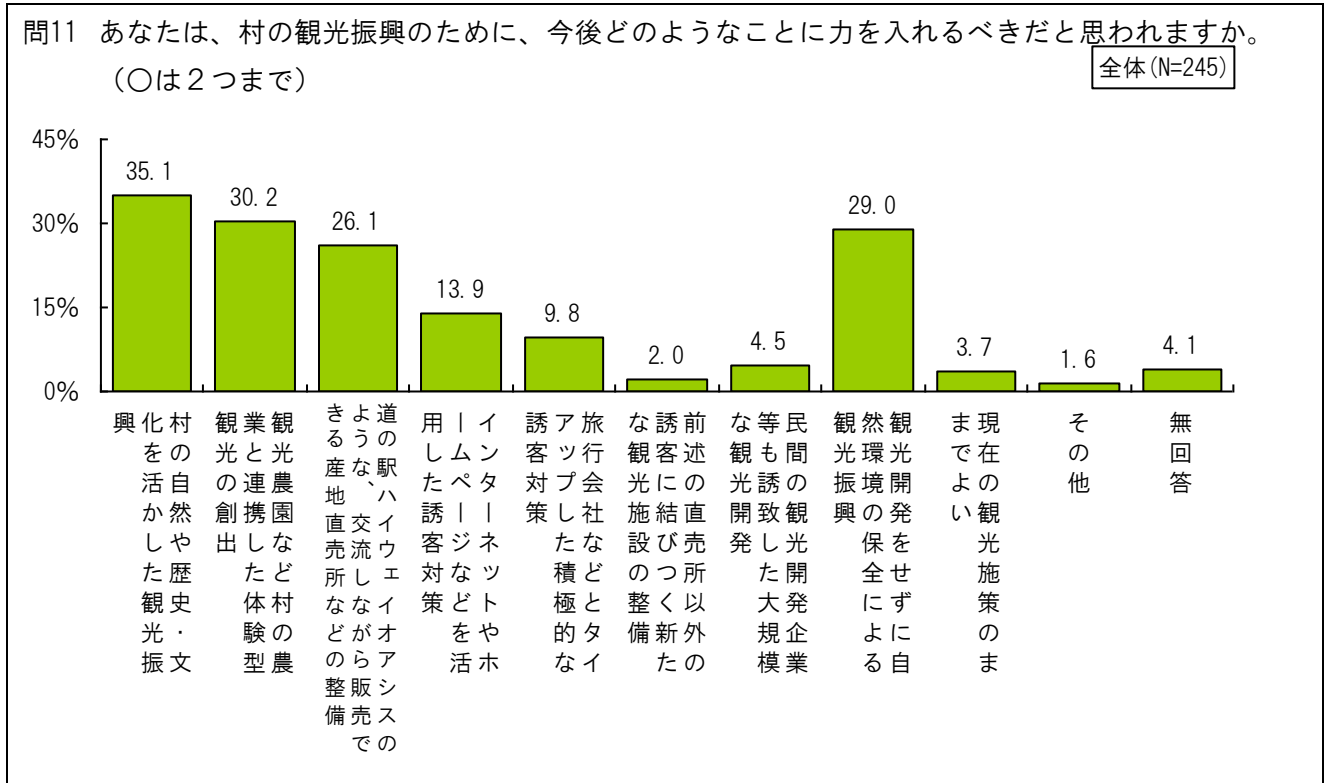
### 11 農業振興のために力を入れるべきこと

問10 あなたは、村の農業振興のために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。  
(○は2つまで)



農業振興のために力を入れるべきことについては、「後継者の育成」が36.7%と最も多く、3人に1人が回答しています。次いで、「特色ある農産物（有機栽培等）の開発・推進」が24.1%、「体験農業、観光農業などの振興」が20.0%、「農産物の加工、特産品の開発」が18.4%などとなっています。

## 12 観光振興のために力を入れるべきこと

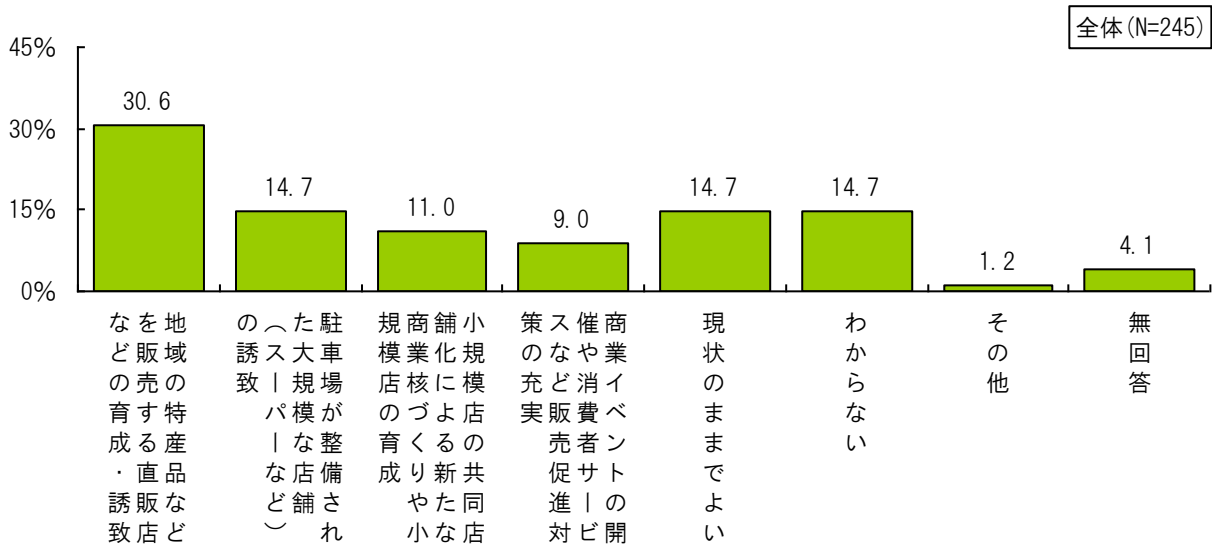


観光振興のために力を入れるべきことについては、「村の自然や歴史・文化を活かした観光振興」が35.1%と最も多く、3人に1人が回答しています。次いで、「観光農園など村の農業と連携した体験型観光の創出」が30.2%、「道の駅ハイウェイオアシスのような、交流しながら販売できる産地直売所などの整備」が26.1%などとなっています。

一方、「観光開発をせずに自然環境の保全による観光振興」は、29.0%と3割を占めています。

### 13 商業振興のために力を入れるべきこと

問12 あなたは、村の商業振興のために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。  
 (○は1つだけ)

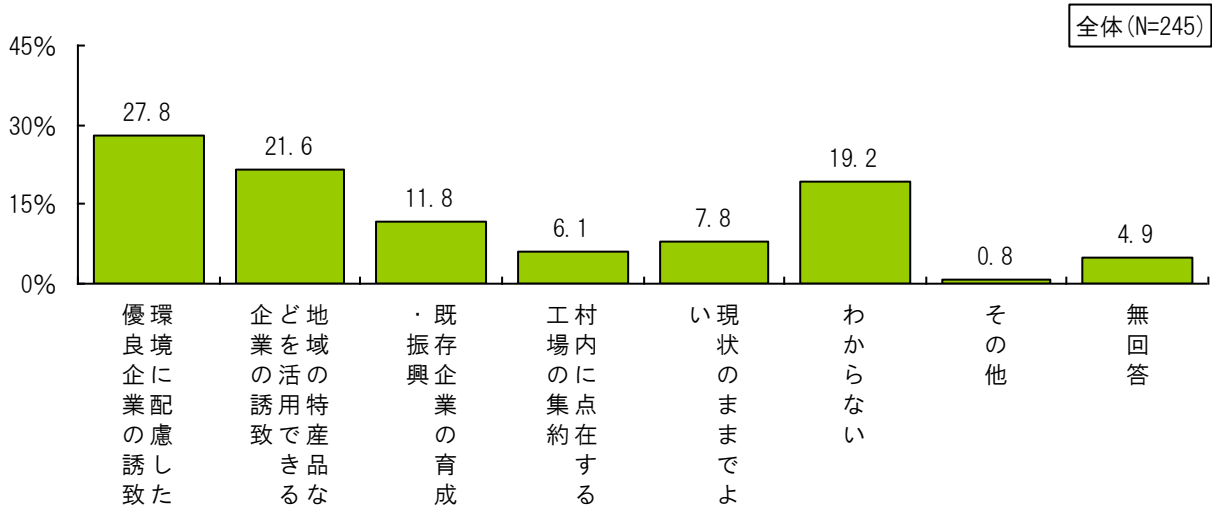


商業振興のために力を入れるべきことについては、「地域の特産品などを販売する直販店などの育成・誘致」が30.6%と、3割となっています。次いで、「駐車場が整備された大規模な店舗（スーパーなど）の誘致」が14.7%、「小規模店の共同店舗化による新たな商業核づくりや小規模店の育成」が11.0%などとなっています。

一方、「現状のままでよい」と「わからない」は、それぞれ14.7%となっています。

## 14 工業振興のために力を入れるべきこと

問13 あなたは、村の工業振興のために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。  
(○は1つだけ)



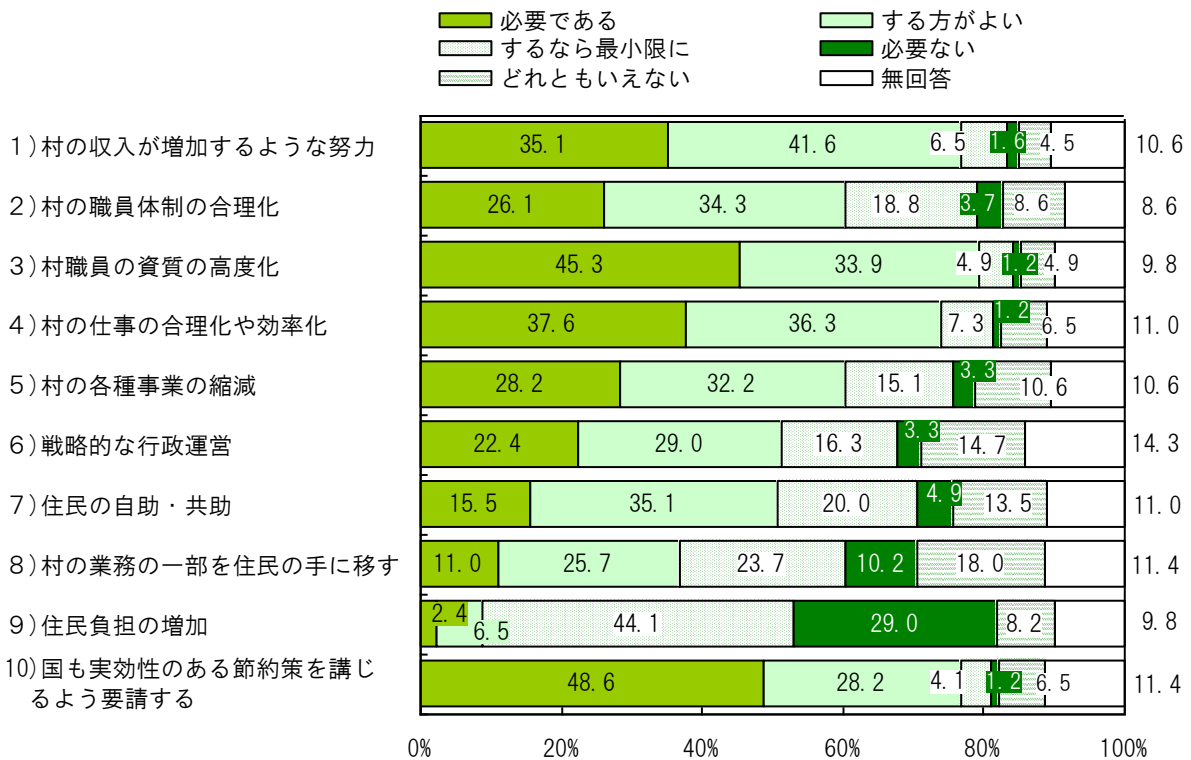
工業振興のために力を入れるべきことについては、「環境に配慮した優良企業の誘致」が27.8%と最も多く、4人に1人が回答しています。次いで、「地域の特産品などを活用できる企業の誘致」が21.6%、「既存企業の育成・振興」が11.8%などとなっています。

一方、「わからない」が19.2%と2割となっており、「現状のままでよい」が7.8%にとどまっています。

## V 村の行財政

### 15 必要な村づくり

問14 国の財政悪化により、村への補助金や地方交付税のさらなる削減が予想され、今後、財政が厳しい中で自立した村づくりを進めていく必要があります。その方法として考えられる主なものを下の枠の中に示しました。あなたはどのようにお考えですか。(〇はそれぞれ1つずつ)



必要な村づくりについて、「必要である」との回答は、『10) 国も実効性のある節約策を講じるよう要請する』が48.6%と最も多く、次いで、『3) 村職員の資質の高度化』が45.3%と、ともに4割を超えています。

「する方がよい」との回答は、『1) 村の収入が増加するような努力』が41.6%と最も多く4割を超え、次いで、『4) 村の仕事の合理化や効率化』が36.3%などと多くなっています。

「するなら最小限に」との回答は、『9) 住民負担の増加』が44.1%と最も多く4割を超え、次いで、『8) 村の業務の一部を住民の手に移す』が23.7%などと多くなっています。

「必要ない」との回答は、『9) 住民負担の増加』が29.0%とほぼ3割を占め、次いで、『8) 村の業務の一部を住民の手に移す』が10.2%などと多くなっています。



# VI 村の行政施策

## 各行政施策の満足度

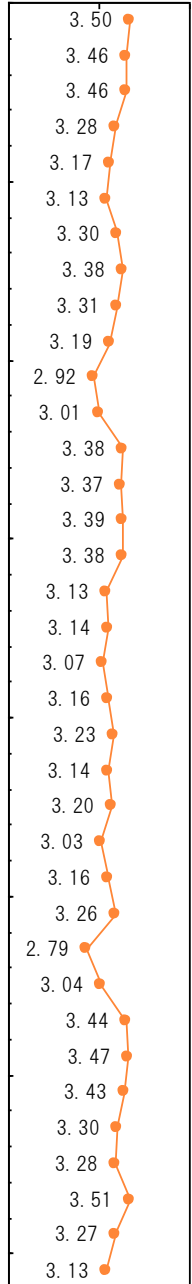
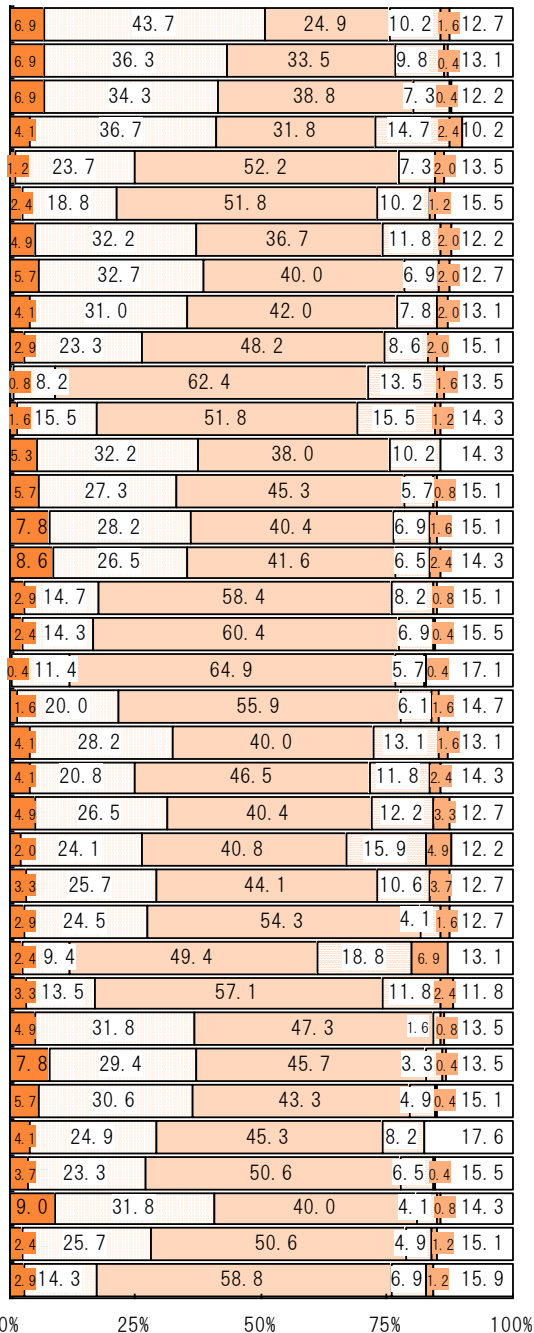
問16 次の項目についての、満足度・重要度を教えてください。(〇はそれぞれ1つずつ)

### 基本目標① 人と自然を大切にしたい住みよい村づくり

**満足度** (N=245)

非常に満足である (5点)   
  やや満足である (4点)  
 どちらともいえない (3点)   
  やや不満 (2点)  
 非常に不満 (1点)   
  無回答

- 001) 自然環境の保全と共生
- 002) 美しい環境の保全と創出
- 003) 緑と花いっぱい運動の推進
- 004) 村内を美しく、川を汚さない運動の推進
- 005) 環境にやさしい公共事業
- 006) 公害対策
- 007) ごみの排出抑制
- 008) ごみ処理体系の広域化
- 009) リサイクルと循環型社会の推進
- 010) 環境と農業のかかわり
- 011) 地域新エネルギー利用の促進
- 012) 省エネルギーへの取り組み
- 013) 水資源の確保と調整
- 014) 給水施設の整備と施設の有効利用
- 015) 水質保全と生活排水浄化施設の整備
- 016) 下水道事業の運営管理
- 017) 住宅用地の確保
- 018) 住宅対策の拡充
- 019) 各種規制の検討
- 020) 集落環境の整備
- 021) 自然とマッチした公園・緑地・水辺空間の整備
- 022) 道路体系の再編成
- 023) 主要地方道・県道の整備促進
- 024) 村道の整備促進
- 025) 交通安全と道路環境の整備
- 026) 交通安全教育の推進
- 027) 公共交通機関の整備拡充
- 028) 高速バス利用対策の推進
- 029) 広域消防体制の確立
- 030) 常備消防体制及び消防力の強化
- 031) 消防団の消防力強化
- 032) 地域防災体制の確立
- 033) 消防・防災意識の高揚
- 034) 救急救助体制の充実
- 035) 地域安全体制の確立
- 036) 治山事業と河川改修の推進



平均 : 3.24

## 満足度

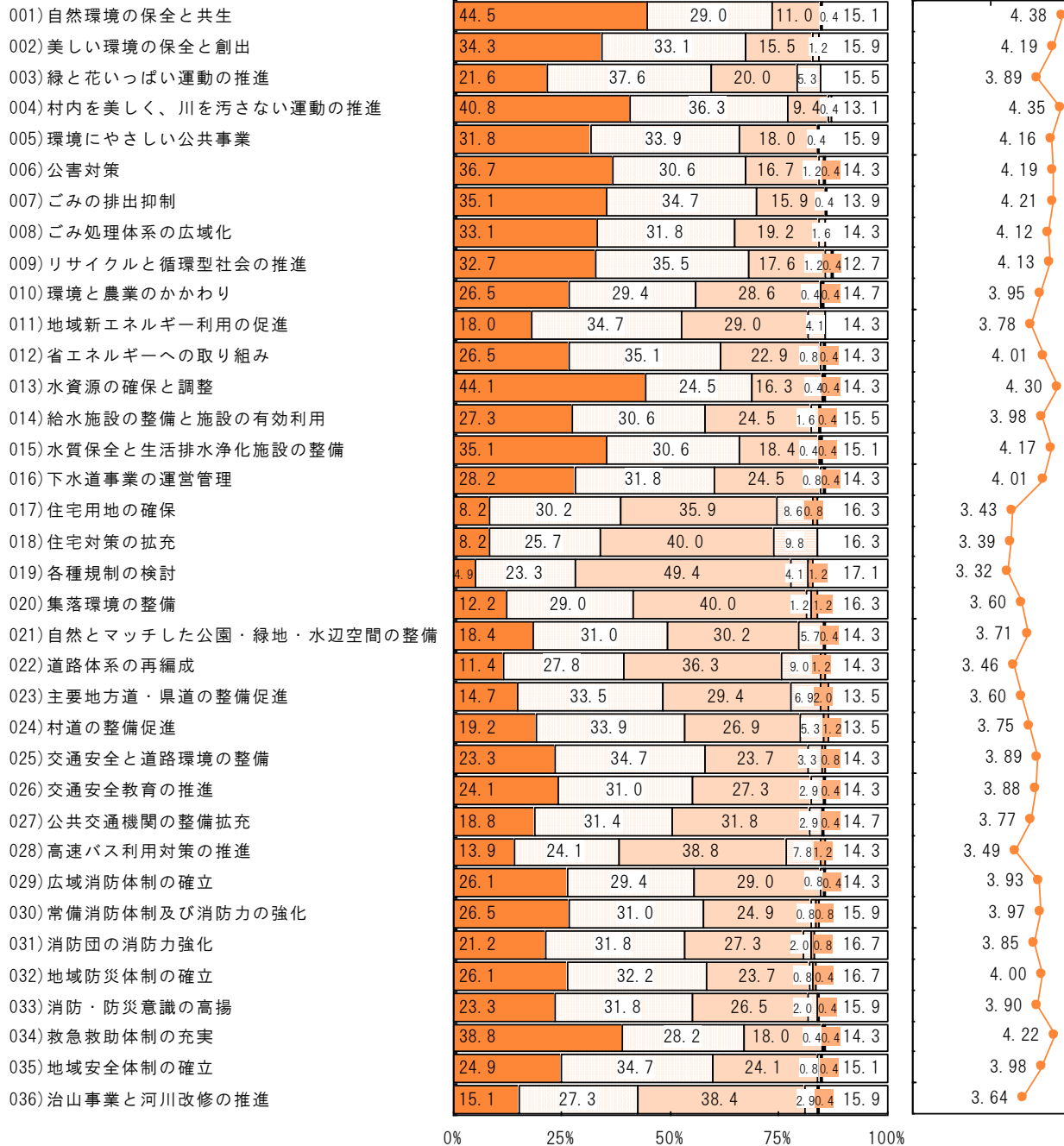
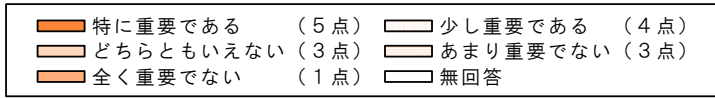
基本目標①人と自然を大切にしたい住みよい村づくりの各行政施策の満足度をみると、「非常に満足である」との回答は、『034)救急救助体制の充実』が9.0%、『016)下水道事業の運営管理』が8.6%などとやや多くなっています。「やや満足である」との回答は、『001)自然環境の保全と共生』が43.7%、『004)村内を美しく、川を汚さない運動の推進』が36.7%などと多くなっています。一方、「やや不満」との回答は、『027)公共交通機関の整備拡充』が18.8%、『24)村道の整備促進』が15.9%などと多くなっています。「非常に不満」との回答は、『027)公共交通機関の整備拡充』が6.9%などとやや多くなっています。

「非常に満足である」と「やや満足である」を合わせた“満足である”は、『001)自然環境の保全と共生』が50.6%と最も多く半数を占めており、次いで『002)美しい環境の保全と創出』が43.2%などと多くなっています。一方、「やや不満」と「非常に不満」を合わせた“不満である”は、『027)公共交通機関の整備拡充』が25.7%、『024)村道の整備促進』が20.8%などと多く、いずれも2割を超えています。

また、「非常に満足である」に5点、「やや満足である」に4点、「どちらともいえない」に3点、「やや不満」に2点、「非常に不満」に1点を加点し、平均点を算出したところ、『034)救急救助体制の充実』が3.51点、『001)自然環境の保全と共生』が3.50点、『030)常備消防体制及び消防力の強化』が3.47点、『002)美しい環境の保全と創出』と『003)緑と花いっぱい運動の推進』が3.46点などと高くなっています。

# 基本目標① 人と自然を大切にしたい住みよい村づくり

**重要度** (N=245)



平均 : 3.91

## 重要度

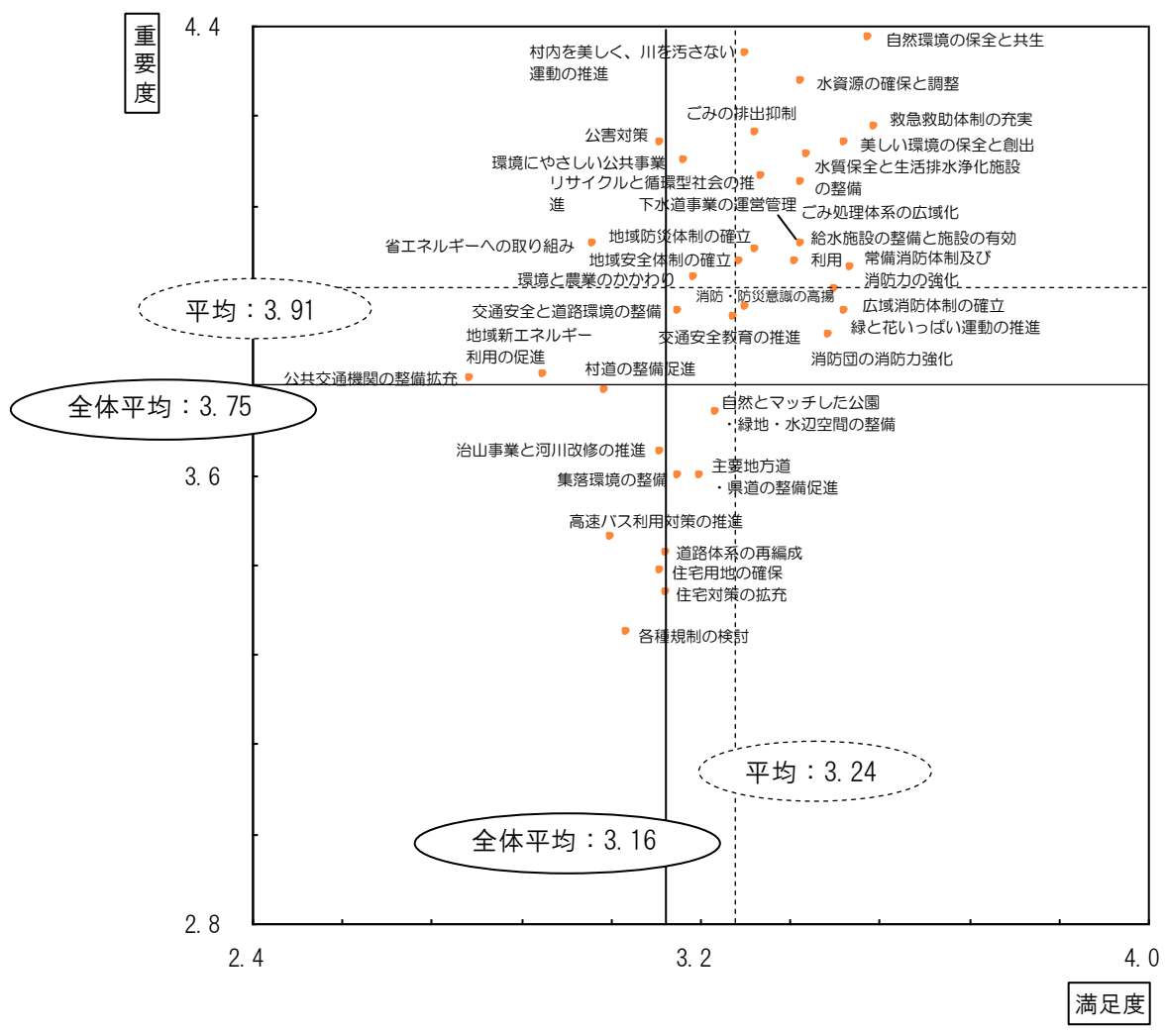
基本目標①人と自然を大切にしたい住みよい村づくりの各行政施策の重要度をみると、「特に重要である」との回答は、『001)自然環境の保全と共生』が44.5%、『013)水資源の確保と調整』が44.1%などと多くなっています。「少し重要である」との回答は、『003)緑と花いっぱい運動の推進』が37.6%、『004)村内を美しく、川を汚さない運動の推進』が36.3%などと多くなっています。一方、「あまり重要でない」との回答は、『018)住宅対策の拡充』が9.8%、『022)道路体系の再編成』が9.0%などとやや多くなっています。

「特に重要である」と「少し重要である」を合わせた“重要である”は、『004)村内を美しく、川を汚さない運動の推進』が77.1%、『001)自然環境の保全と共生』が73.5%と、いずれも7割を超えています。一方、「あまり重要でない」と「全く重要でない」を合わせた“重要でない”は、『022)道路体系の再編成』が10.2%などと多くなっています。

また、「特に重要である」に5点、「少し重要である」に4点、「どちらともいえない」に3点、「あまり重要でない」に2点、「全く重要でない」に1点を加点し、平均点を算出したところ、『001)自然環境の保全と共生』が4.38点、『004)村内を美しく、川を汚さない運動の推進』が4.35点、『013)水資源の確保と調整』が4.30点、『034)救急救助体制の充実』が4.22点、『007)ごみの排出抑制』が4.21点などと高くなっています。

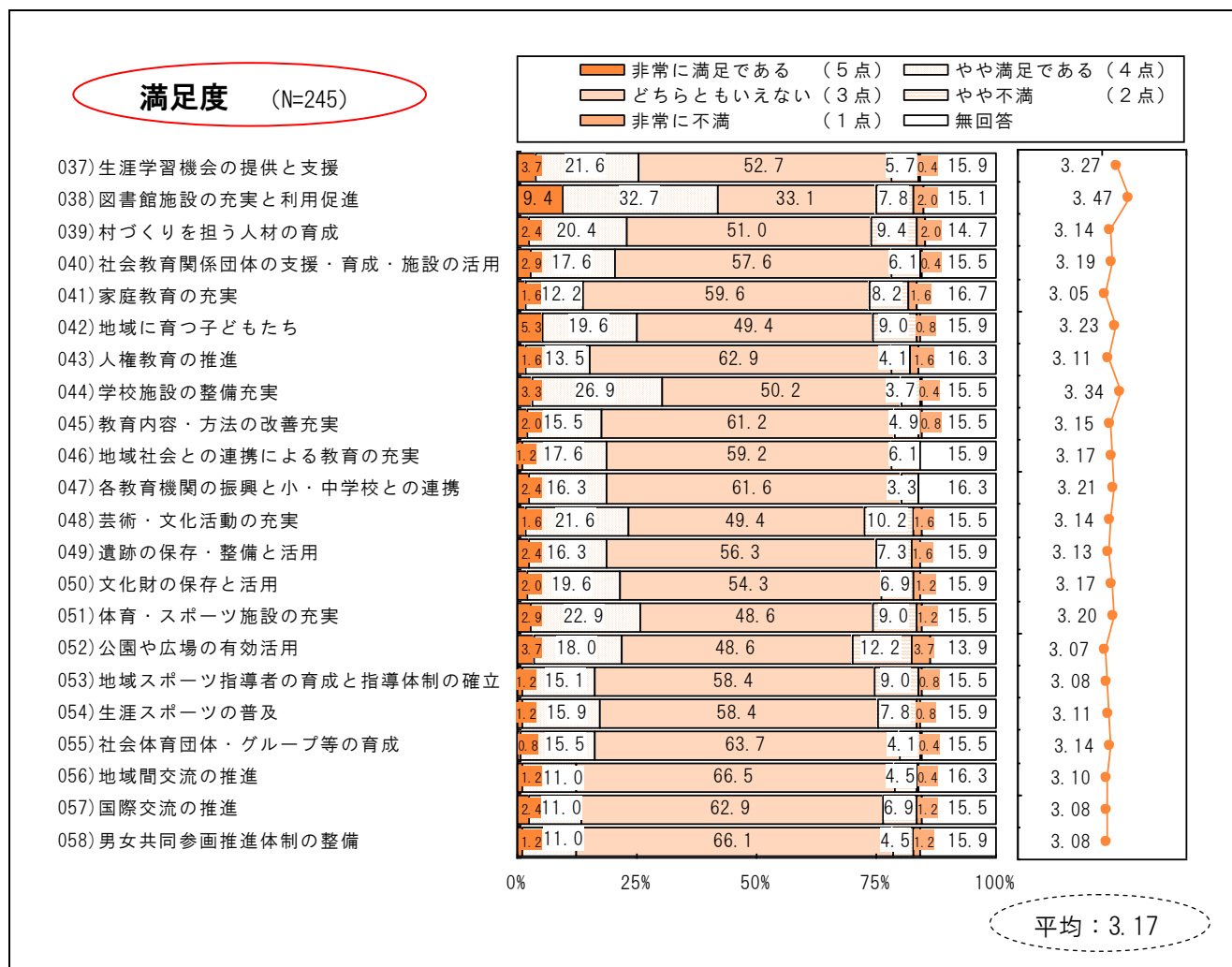
## 基本目標① 人と自然を大切にしたい住みよい村づくり

### 満足度と重要度 (N=245)



基本目標①人と自然を大切にしたい住みよい村づくりの各行政施策は、満足度の平均得点が3.24点、重要度の平均得点が3.91点と、全体の平均得点に比べ、ともに高くなっています。

## 基本目標② 人と文化を育む村づくり

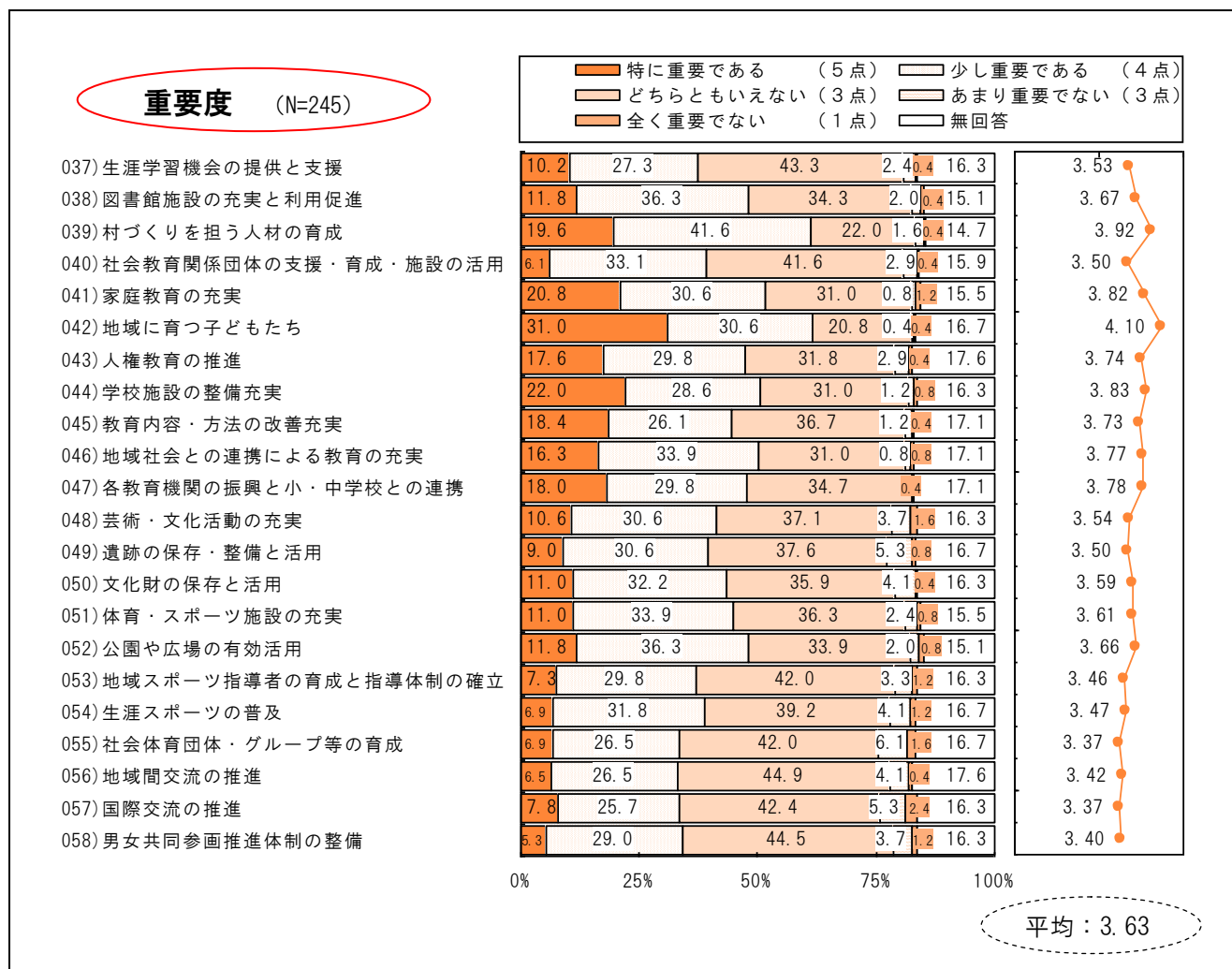


基本目標②人と文化を育む村づくりの各行政施策の満足度をみると、「非常に満足である」との回答は、『038)図書館施設の充実と利用促進』が9.4%などと多くなっています。「やや満足である」との回答は、『038)図書館施設の充実と利用促進』が32.7%、『044)学校施設の整備充実』が26.9%などと多くなっています。一方、「やや不満」との回答は、『052)公園や広場の有効活用』が12.2%、『048)芸術・文化活動の充実』が10.2%などと多くなっています。

“満足である”は、『038)図書館施設の充実と利用促進』が42.1%と最も多く4割を占めており、次いで『044)学校施設の整備充実』が30.2%などと多くなっています。一方、“不満である”は、『052)公園や広場の有効活用』が15.9%、『048)芸術・文化活動の充実』が11.8%などと多くなっています。

また、平均点は、『038)図書館施設の充実と利用促進』が3.47点、『044)学校施設の整備充実』が3.34点、『037)生涯学習機会の提供と支援』が3.27点、『042)地域に育つ子どもたち』が3.23%点、『047)各教育機関の振興と小・中学校との連携』が3.21点などと高くなっています。

## 基本目標② 人と文化を育む村づくり



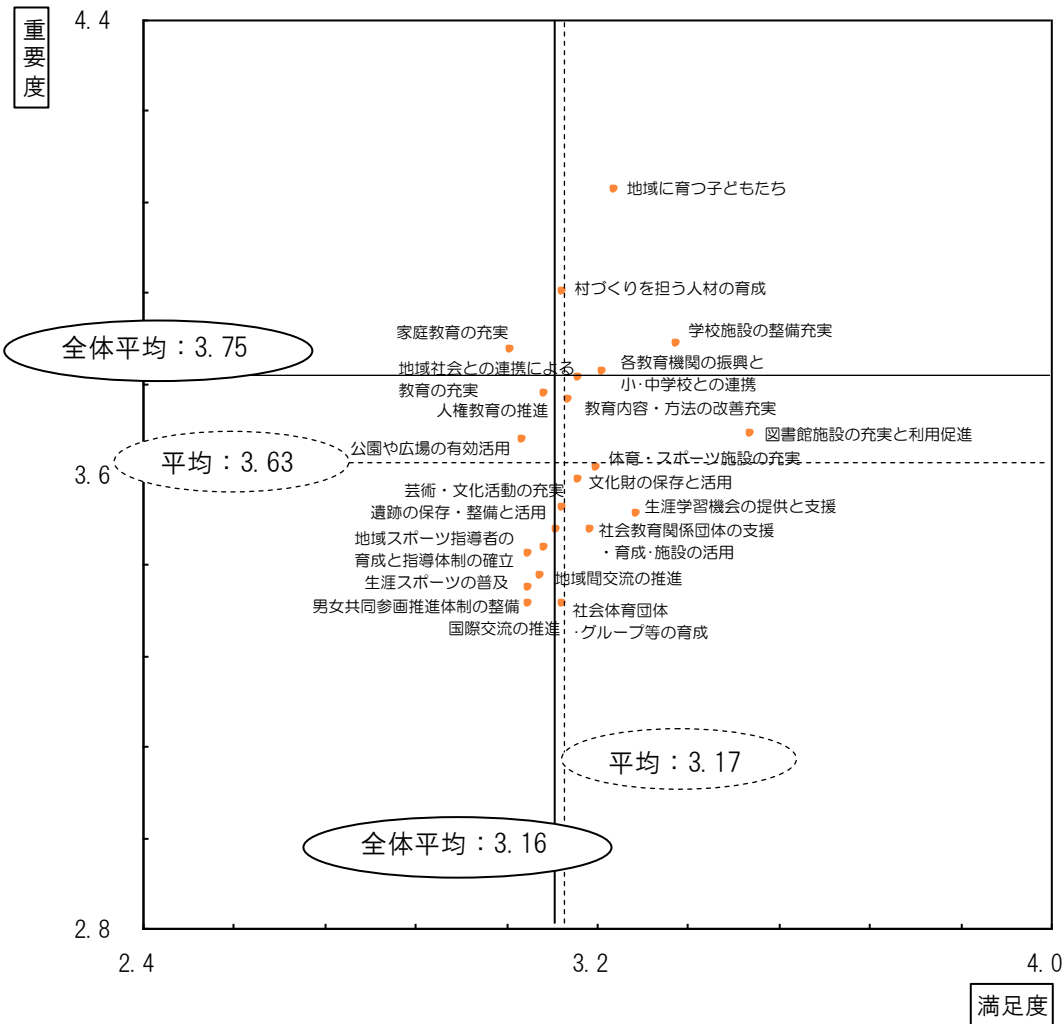
基本目標②人と文化を育む村づくりの各行政施策の重要度をみると、「特に重要である」との回答は、『042)地域に育つ子どもたち』が31.0%、『044)学校施設の整備充実』が22.0%などと多くなっています。「少し重要である」との回答は、『039)村づくりを担う人材の育成』が41.6%、『038)図書館施設の充実と利用促進』が36.3%などと多くなっています。一方、「あまり重要でない」との回答は、『055)社会体育団体・グループ等の育成』が6.1%などとやや多くなっています。

“重要である”は、『042)地域に育つ子どもたち』が61.6%と最も多く、次いで、『039)村づくりを担う人材の育成』が61.2%と、いずれも6割を超えています。一方、“重要でない”は、『057)国際交流の推進』と『055)社会体育団体・グループ等の育成』がそれぞれ7.7%とやや多くなっています。

また、平均点は、『042)地域に育つ子どもたち』が4.10点、『039)村づくりを担う人材の育成』が3.92点、『044)学校施設の整備充実』が3.83点、『041)家庭教育の充実』が3.82点、『047)各教育機関の振興と小・中学校との連携』が3.78点などと高くなっています。

## 基本目標② 人と文化を育む村づくり

### 満足度と重要度 (N=245)

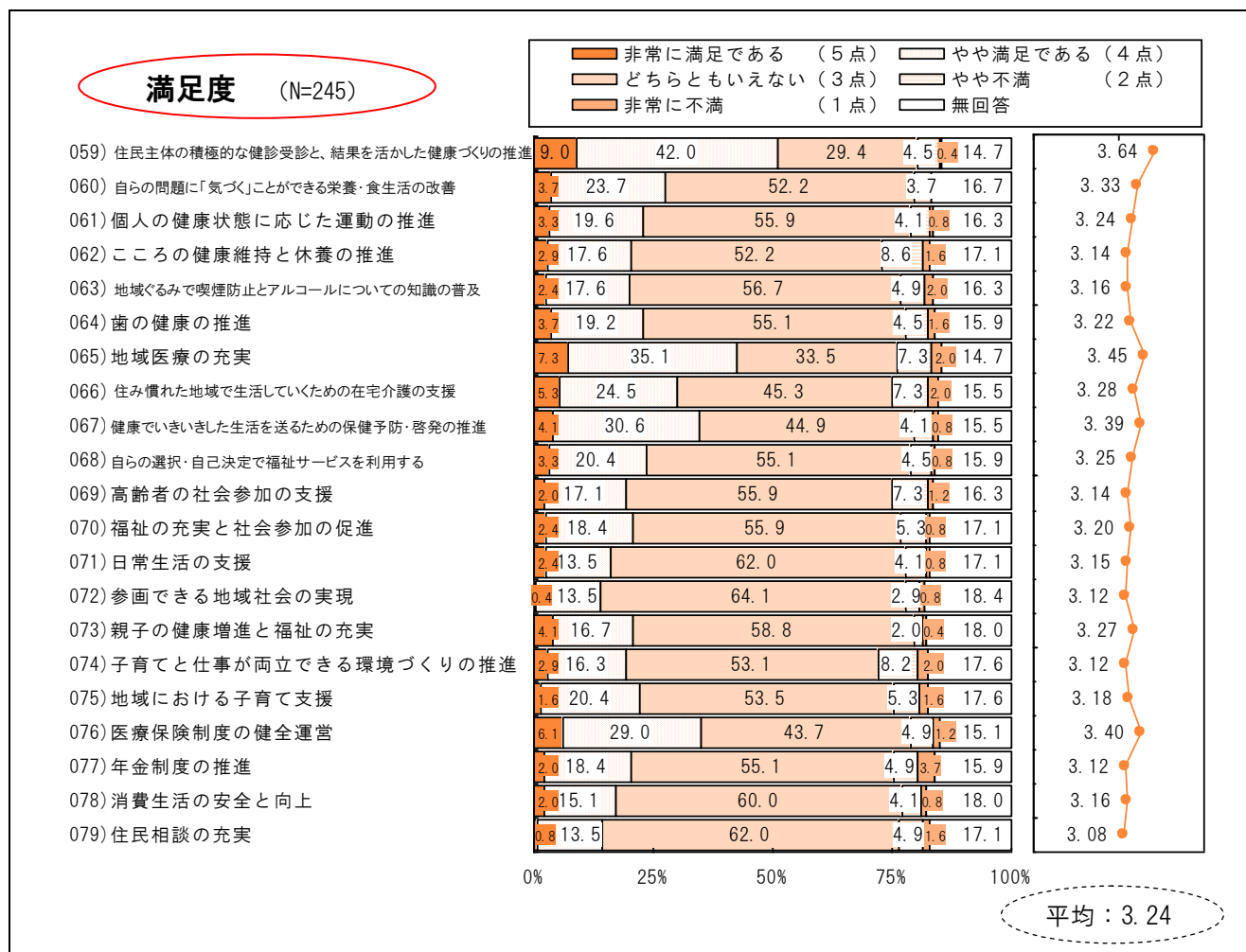


基本目標②人と文化を育む村づくりの各行政施策は、満足度の平均得点が3.17と、全体の平均得点である3.16と、ほぼ同じとなっています。

重要度の平均得点が3.63点と、全体の平均得点である3.75点に比べ、低くなっています。



### 基本目標③ 健康としあわせを誇れる福祉の村づくり

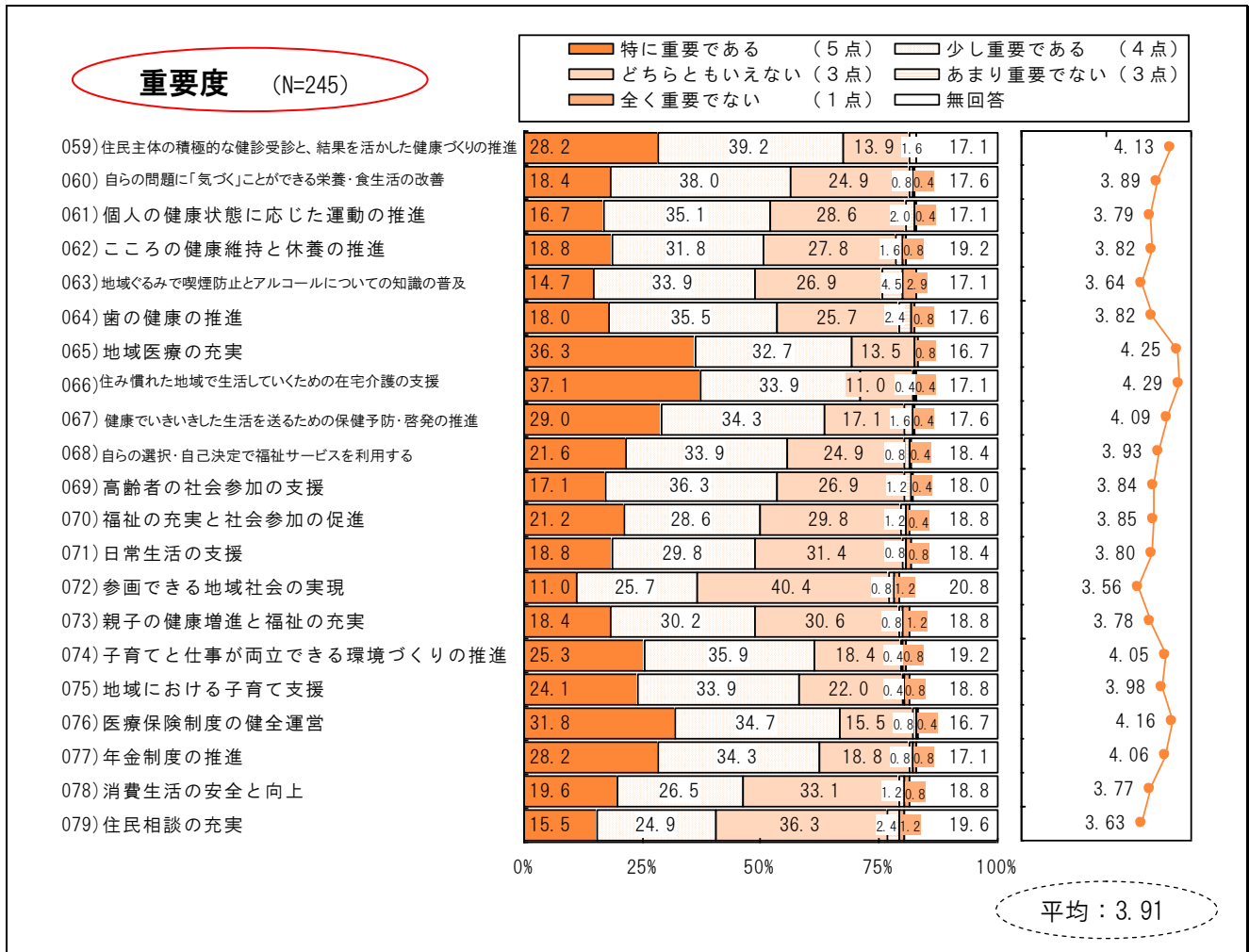


基本目標③健康としあわせを誇れる福祉の村づくりの各行政施策の満足度をみると、「非常に満足である」との回答は、『059) 住民主体の積極的な健診受診と、結果を活かした健康づくりの推進』が9.0%などと多くなっています。「やや満足である」との回答は、『059) 住民主体の積極的な健診受診と、結果を活かした健康づくりの推進』が42.0%、『065) 地域医療の充実』が35.1%などと多くなっています。一方、「やや不満」との回答は、『062) こころの健康維持と休養の推進』が8.6%などとやや多くなっています。

“満足である”は、『059) 住民主体の積極的な健診受診と、結果を活かした健康づくりの推進』が51.0%と最も多く半数を占めており、次いで『065) 地域医療の充実』が42.4%などと多くなっています。一方、“不満である”は、『062) こころの健康維持と休養の推進』と『074) 子育てと仕事が両立できる環境づくりの推進』がともに10.2%などと多くなっています。

また、平均点は、『059) 住民主体の積極的な健診受診と、結果を活かした健康づくりの推進』が3.64点、『065) 地域医療の充実』が3.45点、『076) 医療保険制度の健全運営』が3.40点、『067) 健康でいきいきした生活を送るための保健予防・啓発の推進』が3.39点、『060) 自らの問題に「気づく」ことができる栄養・食生活の改善』が3.33点などと高くなっています。

### 基本目標③ 健康としあわせを誇れる福祉の村づくり

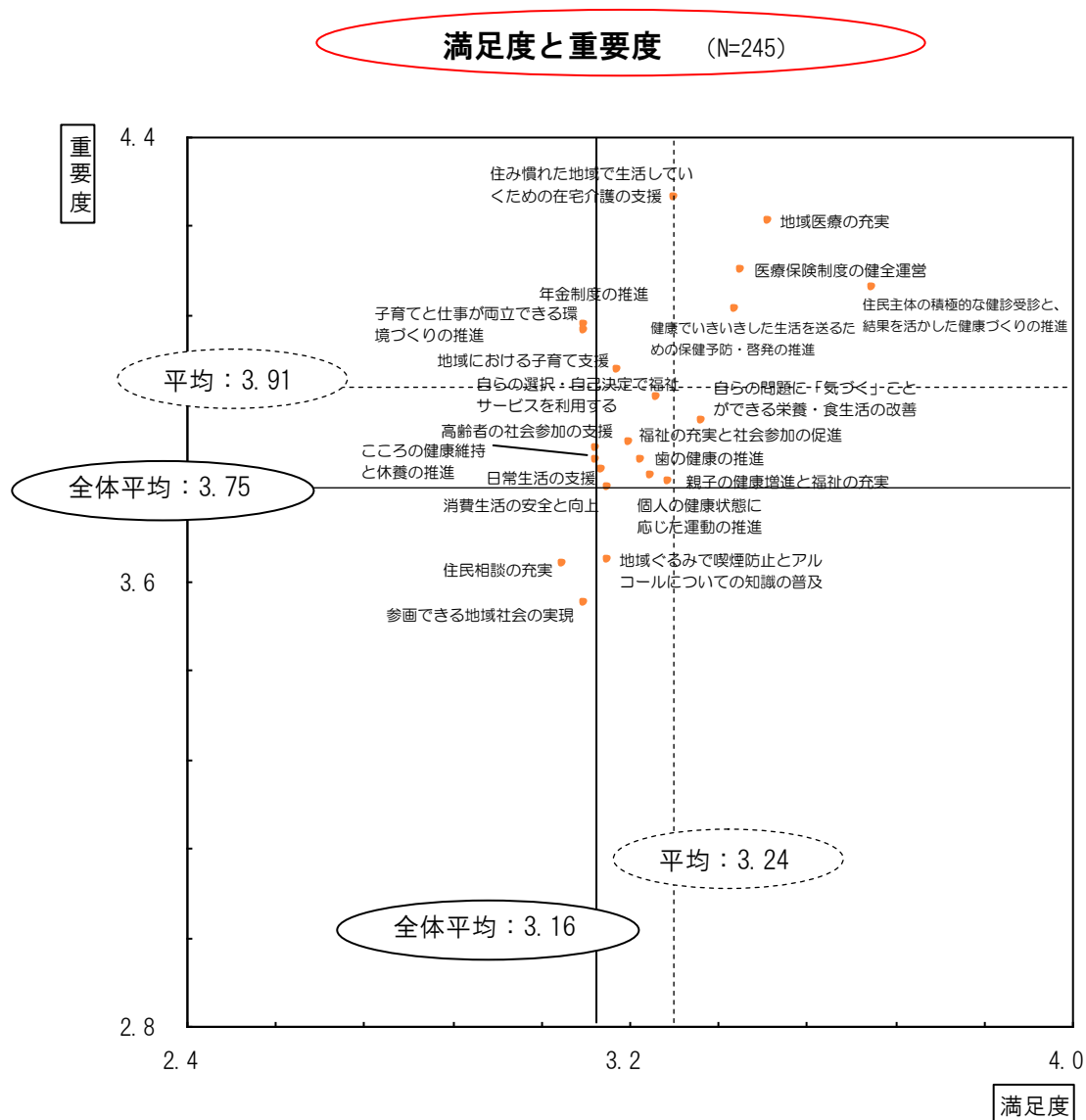


基本目標③健康としあわせを誇れる福祉の村づくりの各行政施策の重要度をみると、「特に重要である」との回答は、『066)住み慣れた地域で生活していくための在宅介護の支援』が37.1%、『065)地域医療の充実』が36.3%などと多くなっています。「少し重要である」との回答は、『059)住民主体の積極的な健診受診と、結果を活かした健康づくりの推進』が39.2%、『060)自らの問題に「気づく」ことができる栄養・食生活の改善』が18.4%などと多くなっています。一方、「あまり重要でない」との回答は、『063)地域ぐるみで喫煙防止とアルコールについての知識の普及』が4.5%などとやや多くなっています。

“重要である”は、『066)住み慣れた地域で生活していくための在宅介護の支援』が71.0%、『065)地域医療の充実』が69.0%などと多く、いずれも7割を占めています。一方、“重要でない”は、『063)地域ぐるみで喫煙防止とアルコールについての知識の普及』が7.4%などとやや多くなっています。

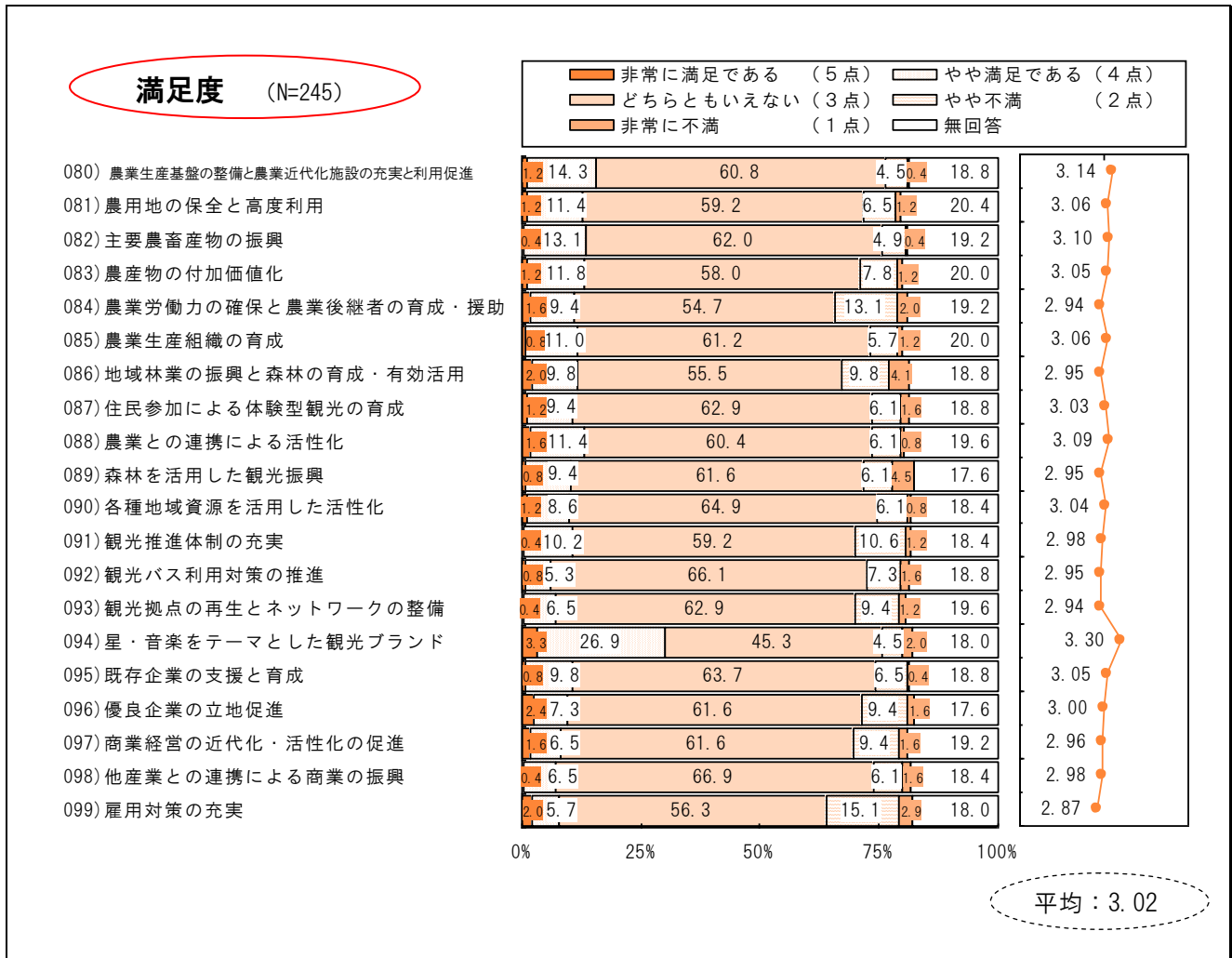
また、平均点は、『066)住み慣れた地域で生活していくための在宅介護の支援』が4.29点、『065)地域医療の充実』が4.25点、『076)医療保険制度の健全運営』が4.16点、『059)住民主体の積極的な健診受診と、結果を活かした健康づくりの推進』が4.13点、『067)健康でいきいきした生活を送るための保健予防・啓発の推進』が4.09点などと高くなっています。

### 基本目標③ 健康としあわせを誇れる福祉の村づくり



基本目標③健康としあわせを誇れる福祉の村づくりの各行政施策は、満足度の平均得点が3.24点、重要度の平均得点が3.91点と、全体の平均得点に比べ、ともに高くなっています。

## 基本目標④ 環境と共生した活力ある村づくり

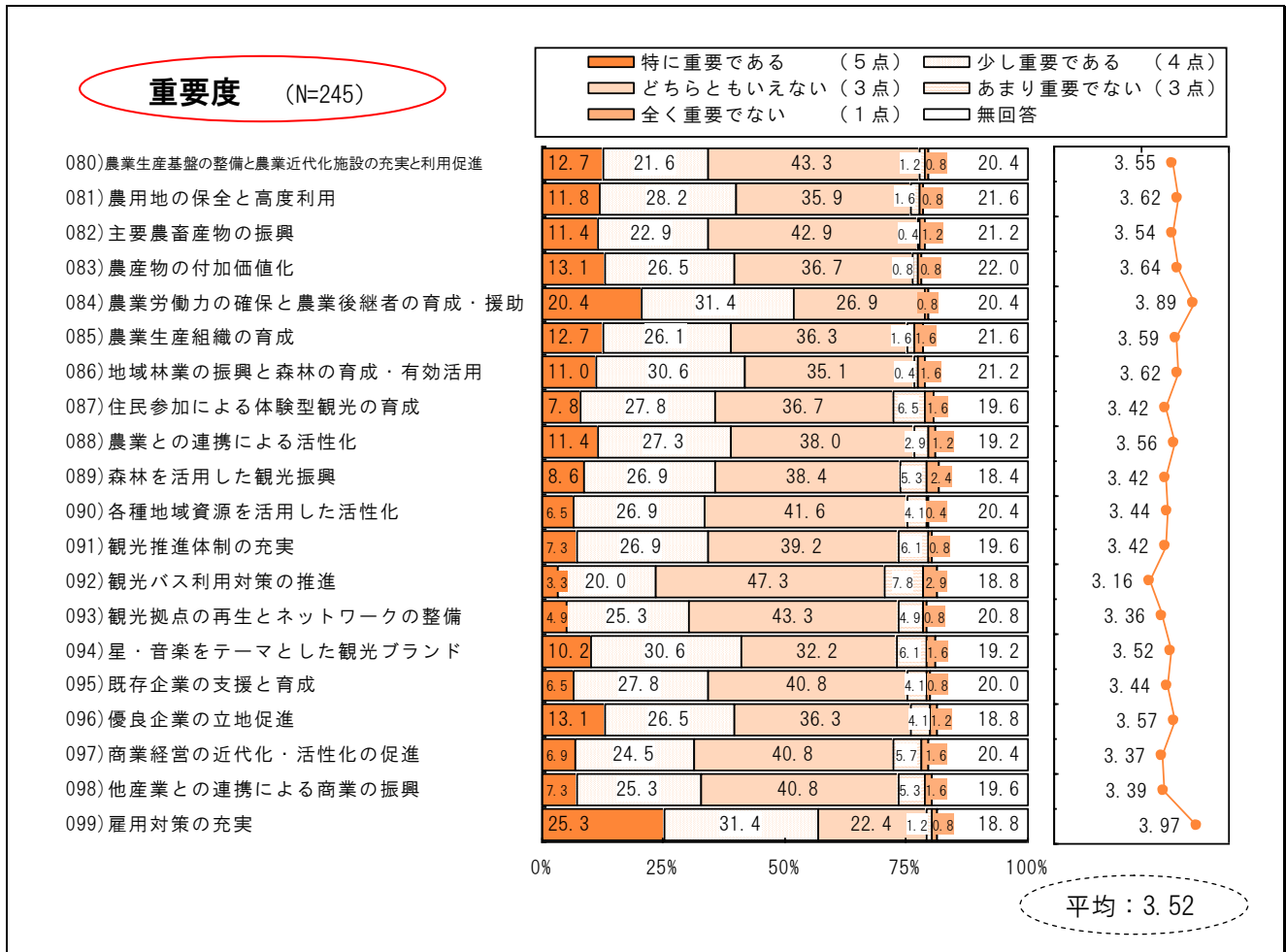


基本目標④環境と共生した活力ある村づくりの各行政施策の満足度をみると、「非常に満足である」との回答は、『094)星・音楽をテーマとした観光ブランド』が3.3%とやや多くなっています。「やや満足である」との回答は、『094)星・音楽をテーマとした観光ブランド』が26.9%、『080)農業生産基盤の整備と農業近代化施設の充実と利用促進』が14.3%などと多くなっています。一方、「やや不満」との回答は、『099)雇用対策の充実』が15.1%などと多くなっています。

“満足である”は、『094)星・音楽をテーマとした観光ブランド』が30.2%と最も多く3割を占め、次いで、『080)農業生産基盤の整備と農業近代化施設の充実と利用促進』が15.5%などと多くなっています。一方、“不満である”は、『099)雇用対策の充実』が18.0%などと多くなっています。

また、平均点は、『094)星・音楽をテーマとした観光ブランド』が3.30点、『080)農業生産基盤の整備と農業近代化施設の充実と利用促進』が3.14点、『088)農業との連携による活性化』が3.09点、『081)農用地の保全と高度利用』が3.06点などと高くなっています。

## 基本目標④ 環境と共生した活力ある村づくり

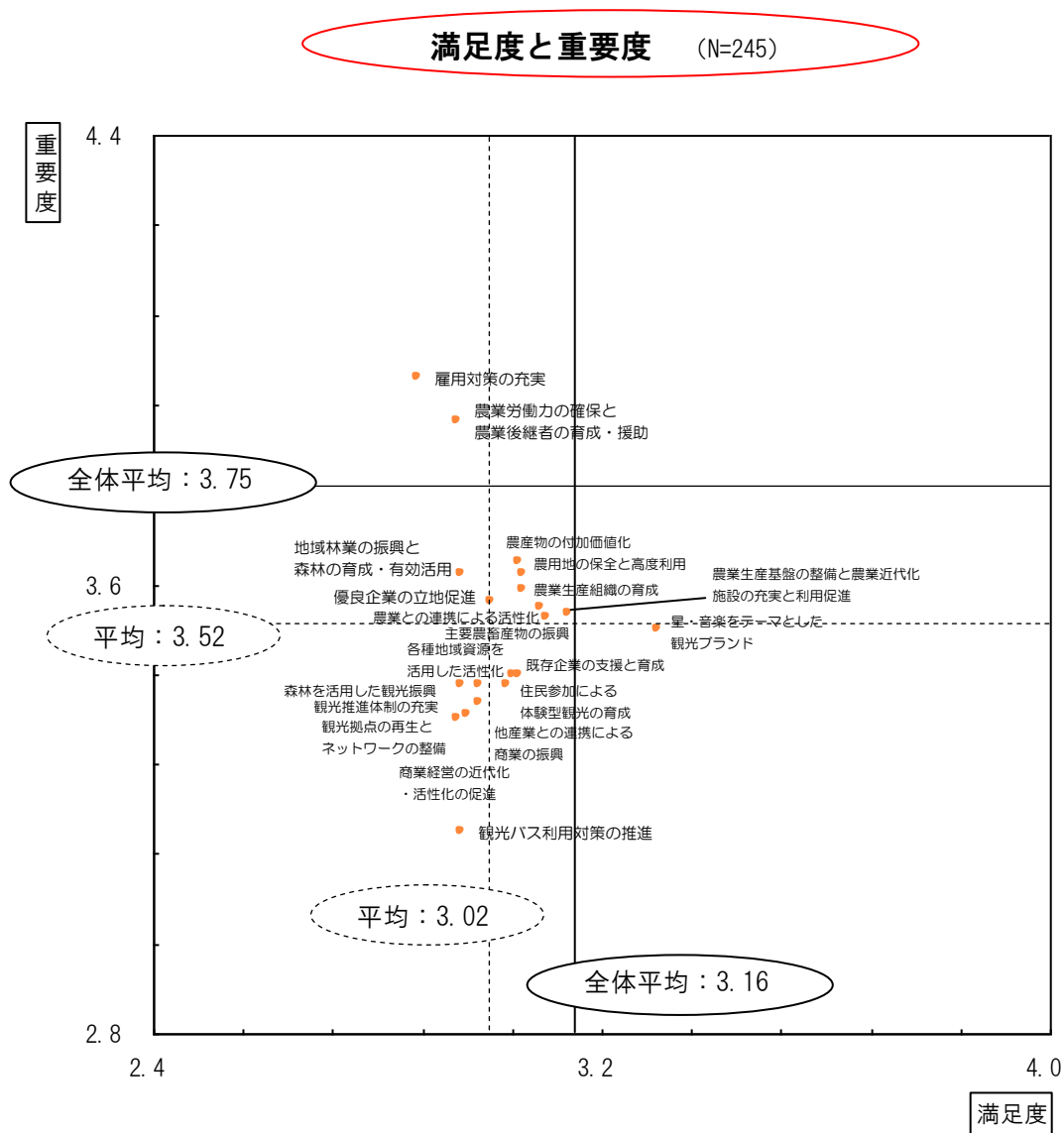


基本目標④環境と共生した活力ある村づくりの各行政施策の重要度をみると、「特に重要である」との回答は、『099)雇用対策の充実』が25.3%、『084)農業労働力の確保と農業後継者の育成・援助』が20.4%などと多くなっています。「少し重要である」との回答は、『099)雇用対策の充実』と『084)農業労働力の確保と農業後継者の育成・援助』が31.4%、『086)地域林業の振興と森林の育成・有効活用』と『094)星・音楽をテーマとした観光ブランド』が30.6%などと多くなっています。一方、「あまり重要でない」との回答は、『092)観光バス利用対策の推進』が7.8%などとやや多くなっています。

“重要である”は、『099)雇用対策の充実』が56.7%、『084)農業労働力の確保と農業後継者の育成・援助』が51.8%などと、いずれも半数を占めています。一方、“重要でない”は、『092)観光バス利用対策の推進』が10.7%などと多くなっています。

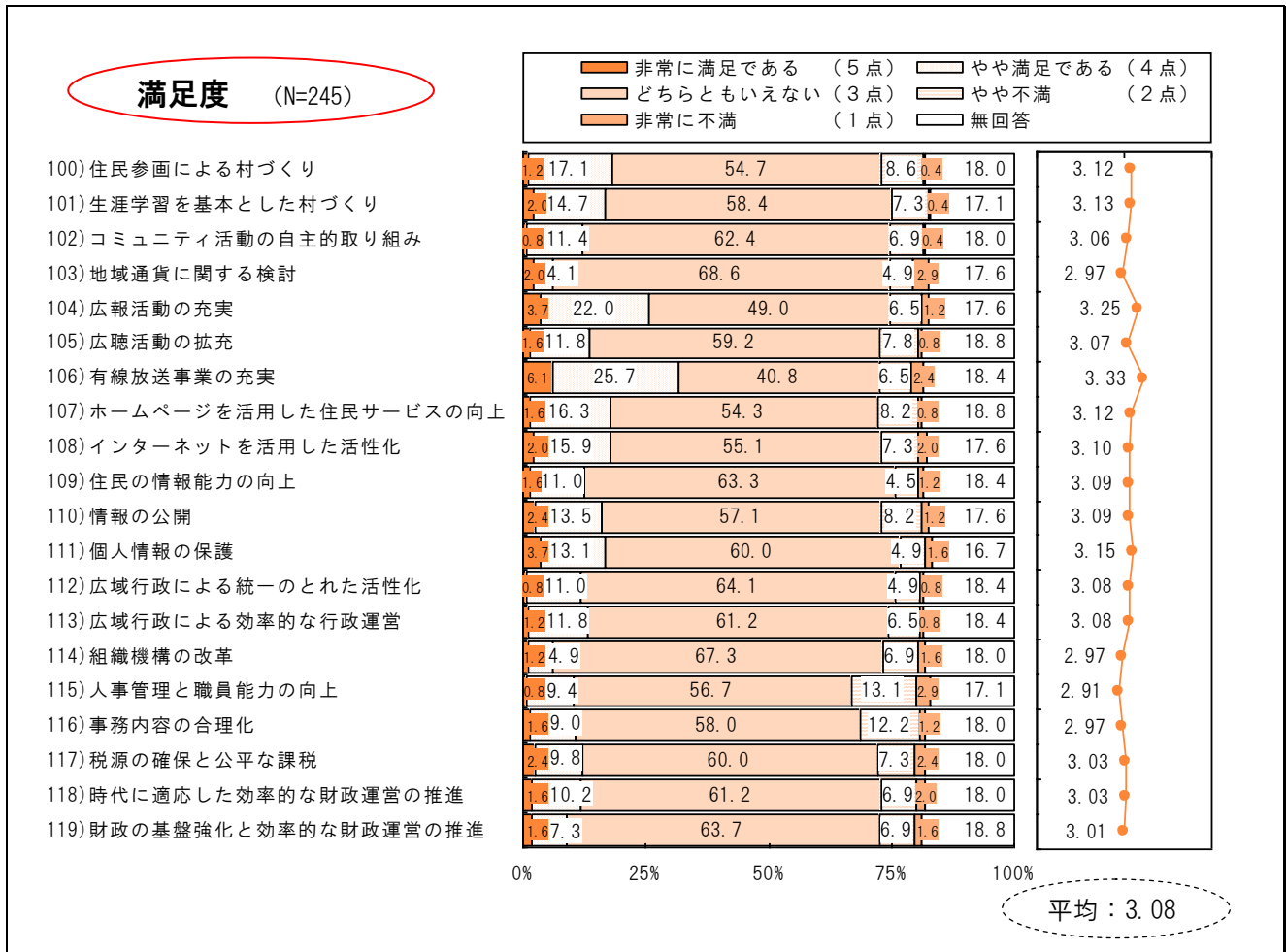
また、平均点は、『099)雇用対策の充実』が3.97点、『084)農業労働力の確保と農業後継者の育成・援助』が3.89点、『083)農産物の付加価値化』が3.64点、『081)農用地の保全と高度利用』と『086)地域林業の振興と森林の育成・有効活用』が3.62点などと高くなっています。

## 基本目標④ 環境と共生した活力ある村づくり



基本目標④環境と共生した活力ある村づくりの各行政施策は、満足度の平均得点が3.02点、重要度の平均得点が3.52点と、全体の平均得点に比べ、ともに低くなっています。

## 基本目標⑤ 計画推進の方策

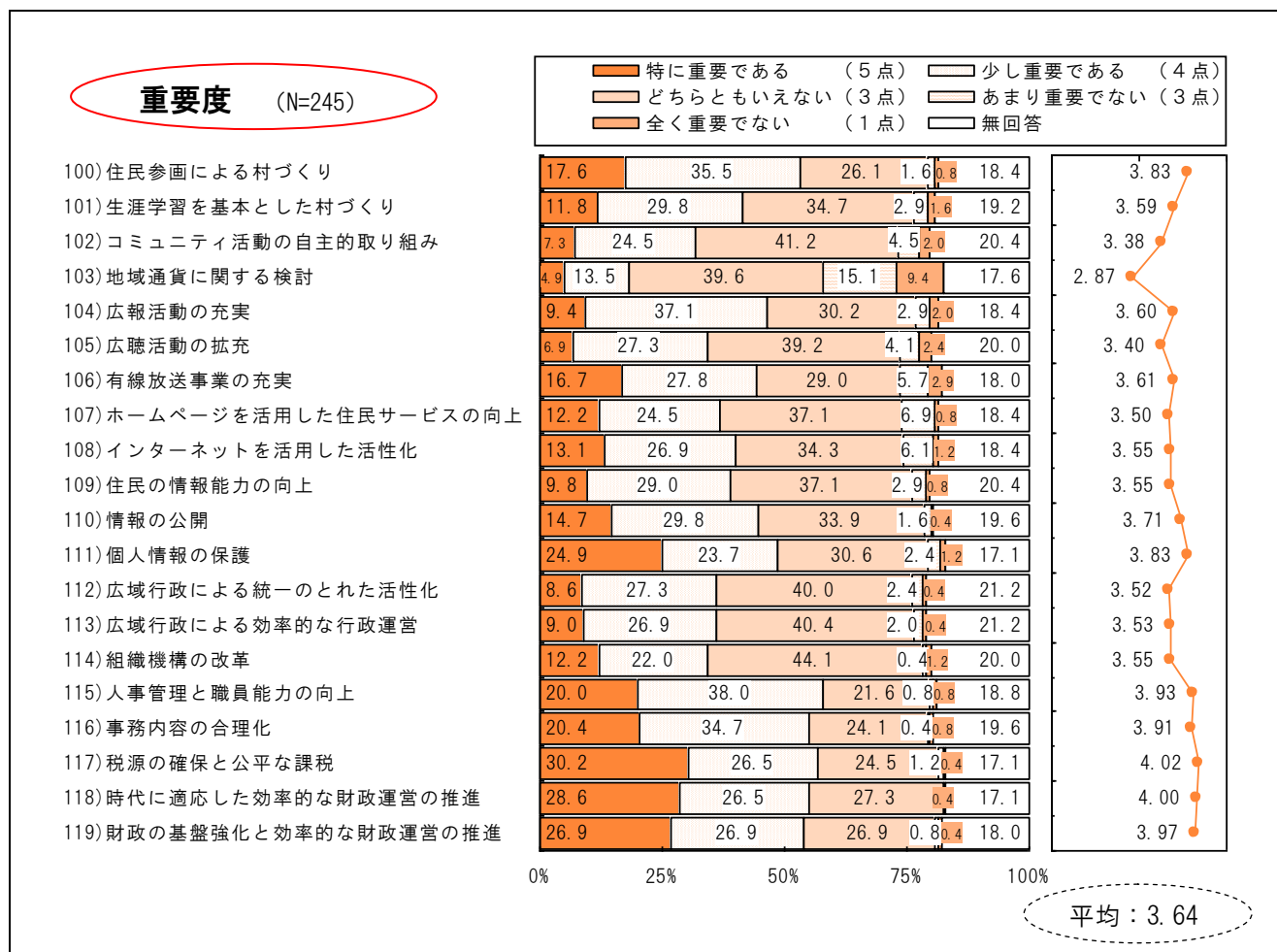


基本目標⑤計画推進の方策の各行政施策の満足度をみると、「非常に満足である」との回答は、『106)有線放送事業の充実』が6.1%などと多くなっています。「やや満足である」との回答は、『106)有線放送事業の充実』が25.7%、『104)広報活動の充実』が22.0%などと多くなっています。一方、「やや不満」との回答は、『115)人事管理と職員能力の向上』が13.1%、『116)事務内容の合理化』が12.2%などと多くなっています。

“満足である”は、『106)有線放送事業の充実』が31.8%と最も多く3割を占めており、次いで、『104)広報活動の充実』が25.7%などと多くなっています。一方、“不満である”は、『115)人事管理と職員能力の向上』が16.0%、『116)事務内容の合理化』が13.4%などと多くなっています。

また、平均点は、『106)有線放送事業の充実』が3.33点、『104)広報活動の充実』が3.25点、『111)個人情報の保護』が3.15点、『101)生涯学習を基本とした村づくり』が3.13点、『100)住民参画による村づくり』と『107)ホームページを活用した住民サービスの向上』がともに3.12点などと高くなっています。

## 基本目標⑤ 計画推進の方策



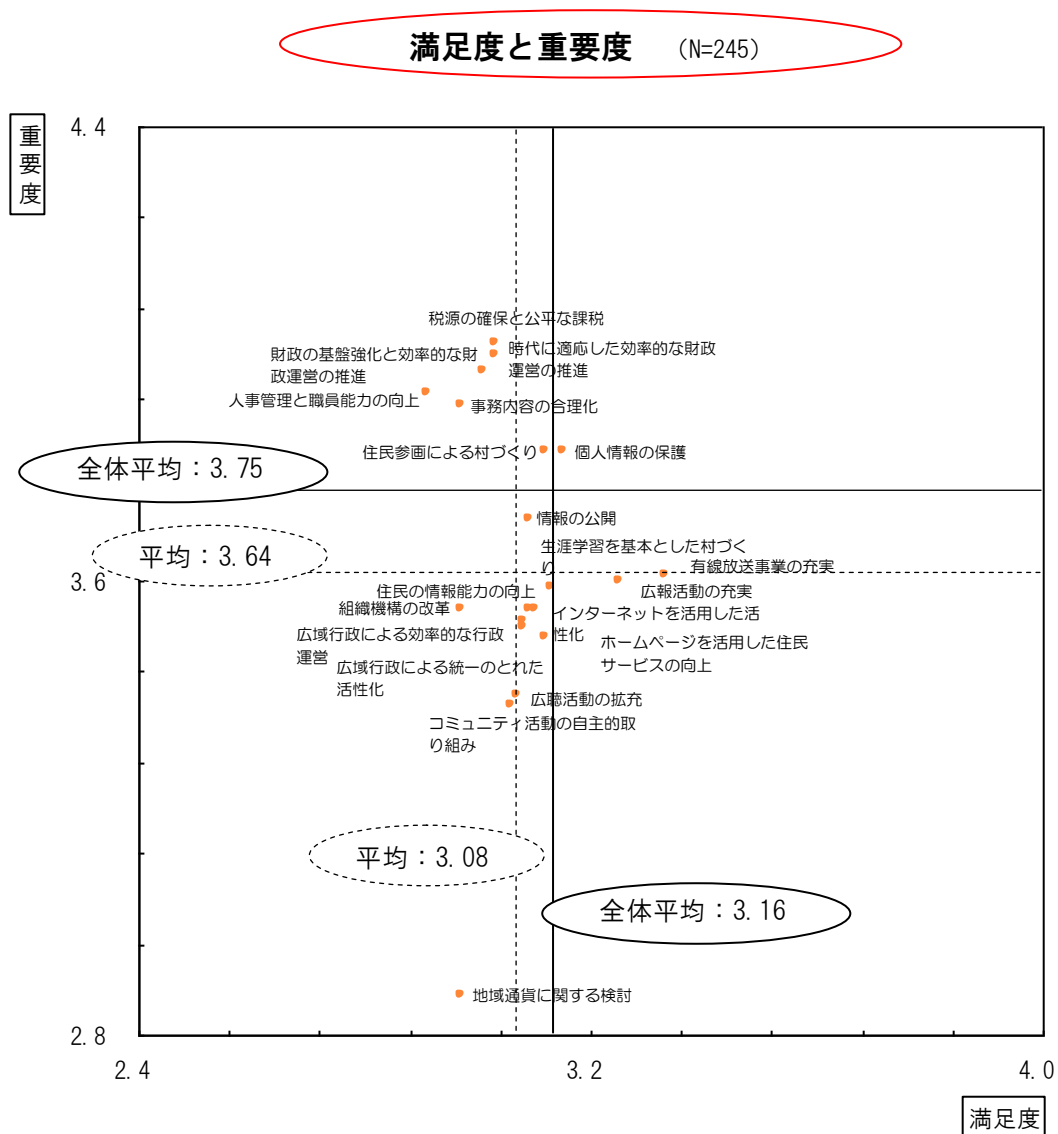
基本目標⑤計画推進の方策の各行政施策の重要度をみると、「特に重要である」との回答は、『117) 税源の確保と公平な課税』が30.2%、『118) 時代に適応した効率的な財政運営の推進』が28.6%などと多くなっています。「少し重要である」との回答は、『115) 人事管理と職員能力の向上』が38.0%、『104) 広報活動の充実』が37.1%などと多くなっています。一方、「あまり重要でない」との回答は、『103) 地域通貨に関する検討』が15.1%などと多くなっています。

“重要である”は、『115) 人事管理と職員能力の向上』が58.0%、『117) 税源の確保と公平な課税』が56.7%などと多くなっています。一方、“重要でない”は、『103) 地域通貨に関する検討』が24.5%と突出して多くなっています。

また、平均点は、『117) 税源の確保と公平な課税』が4.02点、『118) 時代に適応した効率的な財政運営の推進』が4.00点、『119) 財政の基盤強化と効率的な財政運営の推進』が3.97点、『115) 人事管理と職員能力の向上』が3.93点、『116) 事務内容の合理化』が3.91点などと高くなっています。



## 基本目標⑤ 計画推進の方策

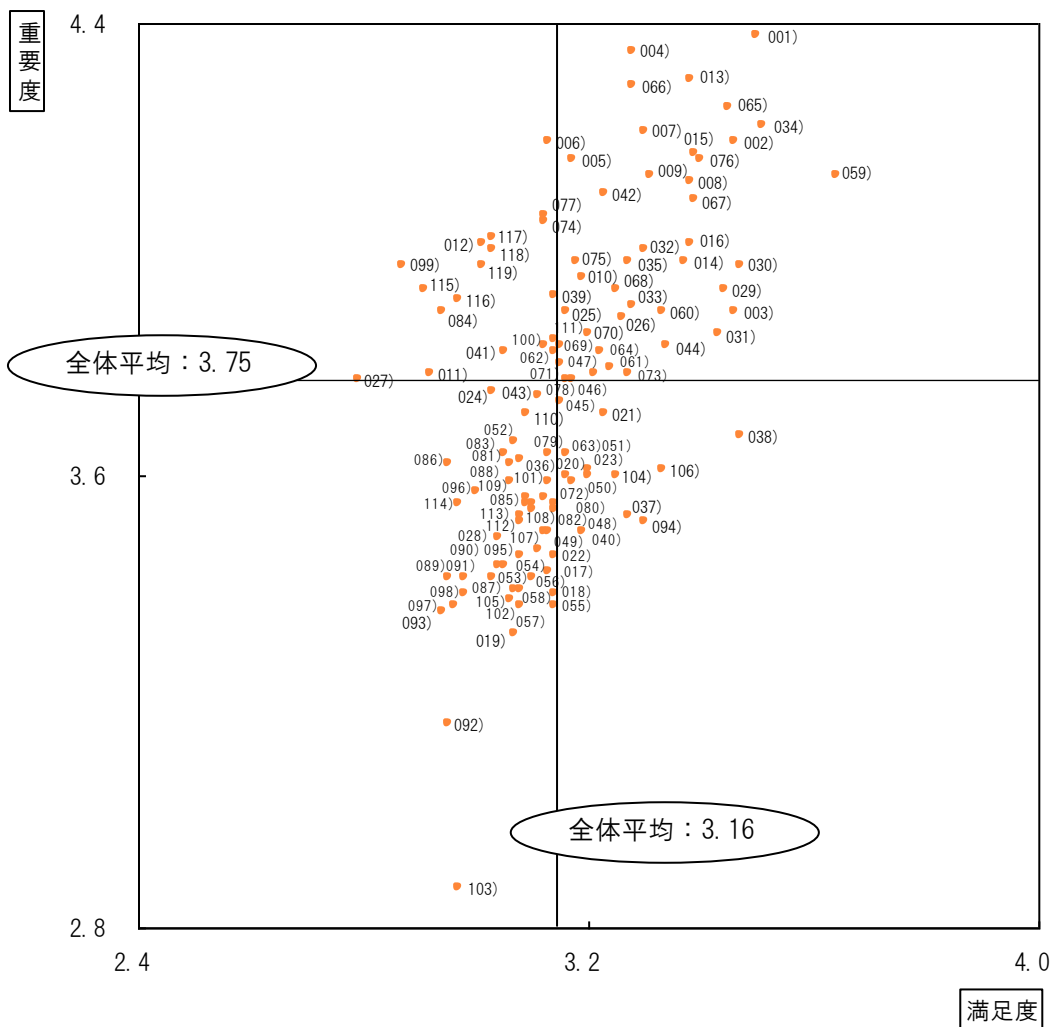


基本目標⑤計画推進の方策の各行政施策は、満足度の平均得点が3.08点、重要度の平均得点が3.64点と、全体の平均得点に比べ、ともに低くなっています。

# 村の行政施策119項目

## 満足度と重要度のまとめ

(N=245)



村の行政施策119項目の平均は、満足度が3.16点、重要度が3.75点となっています。

## Ⅷ 平成17年度アンケートとの比較

### 回答者数

	平成22年	平成17年
調査対象者数	700	1,000
回答者数	245	910
回収率	35.0%	91.0%

回答者数は、平成17年は910人、平成22年は245人となっています。

### 年代

	平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合
18～20歳代	13	5.3%	87	9.6%
30歳代	27	11.0%	119	13.1%
40歳代	36	14.7%	152	16.7%
50歳代	49	20.0%	179	19.7%
60歳代	62	25.3%	144	15.8%
70歳代	42	17.1%	134	14.7%
80歳以上	15	6.1%	58	6.4%
無回答	1	0.4%	37	4.1%

年代は、平成17年と比べ、60歳代がやや増えています。

### 問1 今後も原村に住み続けたいか

	平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合
住み続けたい	161	65.7%	477	52.4%
どちらかと言えば住み続けたい	47	19.2%	232	25.5%
どちらかと言えば住みたくない	11	4.5%	76	8.4%
住みたくない (できれば村外へ引越したい)	7	2.9%	23	2.5%
どちらとも言えない	15	6.1%	68	7.5%
無回答	4	1.6%	34	3.7%

今後も原村に住み続けたいかについては、「住み続けたい」が65.7%と、13.3ポイント増えています。

“住み続けたい”との回答は、84.9%と、7.0ポイント増えています。

問1-1 住み続けたいと思わない理由

	平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合
寒冷地で自然環境が厳しい	6	33.3%	41	44.1%
買い物など生活の利便が悪い	9	50.4%	43	46.2%
道路や交通の利便が悪い	7	38.9%	16	17.2%
行事や近所づきあいなどが面倒	7	38.9%	32	34.4%
子どもの教育のことが心配	2	11.1%	6	6.5%
安定した職場がないから	1	5.6%	11	11.8%
医療や福祉施設が不足している	0	0.0%	10	10.8%
適当な住宅地が確保しにくい	0	0.0%	9	9.7%
スポーツ・レジャー・文化施設などが少ない	2	11.1%	2	2.2%
その他	1	5.6%	8	8.6%
無回答	0	0.0%	1	1.1%

住み続けたいと思わない理由については、「道路や交通の利便が悪い」が38.9%と、21.7ポイント増え、「スポーツ・レジャー・文化施設などが少ない」が11.1%と、8.9ポイント増えています。

一方、「寒冷地で自然環境が厳しい」が33.3%、「医療や福祉施設が不足している」が0.0%と、それぞれ10.8ポイント減り、「適当な住宅地が確保しにくい」が0.0%と、9.7ポイント減っています。

問3 特に力を入れてほしい原村の行政

	平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合
自然環境保護の対策	83	33.9%	294	32.3%
景観・デザインに配慮した村づくり	50	20.4%	152	16.7%
住民参加型の行政の推進	33	13.5%	143	15.7%
区・自治会の活動やコミュニティ活動の活性化対策	28	11.4%	52	5.7%
若者の定住促進対策の推進	67	27.3%	279	30.7%
バスなど公共交通の利便性の向上	81	33.1%	335	36.8%
道路交通網の整備	37	15.1%	144	15.8%
水道施設の整備	8	3.3%	16	1.8%
公共下水道の整備	25	10.2%	72	7.9%
公園やいこいの広場などの整備	26	10.6%	183	20.1%
インターネットの活用やCATV（サラダチャンネル）など情報化の推進	26	10.6%	98	10.8%
ごみ収集・回収（再利用）体制の充実	54	22.0%	156	17.1%
保健・医療施設や健康相談、健康診査等の体制の整備	71	29.0%	167	18.4%
高齢者や障がい者などの福祉施設や医療費などの福祉施策の整備	99	40.4%	344	37.8%
子どもの保育体制の充実や子育て支援対策の充実	59	24.1%	182	20.0%
農林業の振興対策	46	18.8%	153	16.8%
工業の振興対策	12	4.9%	49	5.4%
商業の振興対策	15	6.1%	57	6.3%
観光の振興対策	26	10.6%	92	10.1%
消防・防災体制の充実	15	6.1%	91	10.0%
公民館などの生涯学習施設の整備	22	9.0%	79	8.7%
スポーツ・運動施設の整備	18	7.3%	130	14.3%
学校教育施設や内容の充実	21	8.6%	104	11.4%
男女共同参画社会づくりの推進	10	4.1%	41	4.5%
国際交流や地域間交流活動の充実	14	5.7%	39	4.3%
周辺市町村との広域的連携と事業の推進	46	18.8%	178	19.6%
その他	7	2.9%	33	3.6%
無回答	3	1.2%	56	6.2%

特に力を入れてほしい原村の行政については、「保健・医療施設や健康相談、健康診査等の体制の整備」が29.0%と、10.6ポイント増え、「区・自治会の活動やコミュニティ活動の活性化対策」が11.4%と、5.7ポイント増えています。

一方、「公園やいこいの広場などの整備」が10.6%と9.5ポイント減り、「スポーツ・運動施設の整備」が7.3%と、7.0ポイント減っています。

#### 問4 入手したい原村の情報

	平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合
村内のイベント情報	84	34.3%	316	34.7%
近隣市町村のイベント情報	76	31.0%	217	23.8%
村づくりの方針・計画	95	38.8%	346	38.0%
村づくりの進行状況	69	28.2%	328	36.0%
村の財政状況	78	31.8%	378	41.5%
村内のグループ活動の情報	47	19.2%	215	23.6%
各種行政サービスの情報	134	54.7%	458	50.3%
議会で議論されている内容	61	24.9%	295	32.4%
その他の情報	1	0.4%	19	2.1%
無回答	12	4.9%	96	10.5%

入手したい原村の情報については、「近隣市町村のイベント情報」が31.0%と、7.2ポイント増えています。

一方、「村の財政状況」が31.8%と、9.7ポイント減り、「村づくりの進行状況」が28.2%と、7.8ポイント減っています。

#### 問5 充実すべき情報伝達手段

	平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合
「広報はら」の紙面によるお知らせ	97	39.6%	262	28.8%
有線放送などによる音声のお知らせ	59	24.1%	212	23.3%
CATV（サラダチャンネル）などの映像	29	11.8%	163	17.9%
原村ホームページなどインターネットによるお知らせ	37	15.1%	99	10.9%
村政懇談会など直接住民のみなさんとの対話	13	5.3%	49	5.4%
その他	4	1.6%	13	1.4%
無回答	6	2.4%	112	12.3%

充実すべき情報伝達手段については、「「広報はら」の紙面によるお知らせ」が39.6%と、10.8ポイント増えています。

一方、「CATV（サラダチャンネル）などの映像」が11.8%と、6.1ポイント減っています。

#### 問6 参加したい村づくり

	平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合
役場や議会に積極的に提案したり要望していきたい	19	7.8%	80	8.8%
地域での話し合いや討議の場に参加していきたい	43	17.6%	157	17.3%
村づくりのグループなどに参加して活動したい	33	13.5%	123	13.5%
ボランティア活動を通じて村づくりに参加したい	40	16.3%	151	16.6%
村づくりに参加したいと思っているが、機会やタイミングがつかめない	110	44.9%	381	41.9%
特に参加したいと思わないし、役場に任せればいいと思っている	46	18.8%	196	21.5%
その他	6	2.4%	48	5.3%
無回答	18	7.3%	86	9.5%

参加したい村づくりについては、大きな差異はみられません。

問7 村づくり活動への参加状況・参加意向

	参加している				今後、参加してみたい			
	平成22年		平成17年		平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
区や組の活動 (コミュニティ活動)	69	28.2%	223	24.5%	38	15.5%	69	7.6%
伝統芸能や祭りなどの地域行事	52	21.2%	146	16.0%	50	20.4%	74	8.1%
保育園・学校 (PTA活動など)の行事	31	12.7%	123	13.5%	24	9.8%	29	3.2%
子ども会やスポーツ少年団、 青少年健全育成活動	13	5.3%	40	4.4%	29	11.8%	49	5.4%
青年グループ・団体活動	5	2.0%	14	1.5%	14	5.7%	17	1.9%
女性グループ・団体活動	13	5.3%	37	4.1%	24	9.8%	48	5.3%
老人クラブ活動	37	15.1%	100	11.0%	19	7.8%	52	5.7%
商工会や農林業団体などの活動	8	3.3%	40	4.4%	36	14.7%	26	2.9%
農作業や森林ボランティア、 特産品づくりなどの活動	8	3.3%	13	1.4%	57	23.3%	107	11.8%
各種スポーツ活動	20	8.2%	89	9.8%	56	22.9%	112	12.3%
趣味や教養、芸術などのグループ・団体活動	17	6.9%	56	6.2%	109	44.5%	201	22.1%
歴史・文化遺産保存活動	3	1.2%	9	1.0%	57	23.3%	81	8.9%
生涯学習講師や公民館活動などのボランティア活動	7	2.9%	10	1.1%	51	20.8%	55	6.0%
子どもの遊び場や教育などのボランティア活動	10	4.1%	11	1.2%	51	20.8%	66	7.3%
健康づくり、保健・医療、衛生などの保健活動	6	2.4%	25	2.7%	68	27.8%	103	11.3%
子育てボランティア活動	7	2.9%	4	0.4%	35	14.3%	52	5.7%
高齢者や障がい者へのボランティア活動	13	5.3%	21	2.3%	57	23.3%	87	9.6%
自然環境の保全や自然と親しむ活動	9	3.7%	9	1.0%	92	37.6%	192	21.1%
公園等の維持・管理などのボランティア活動	7	2.9%	11	1.2%	41	16.7%	51	5.6%
環境美化活動やごみ減量、リサイクル活動	15	6.1%	23	2.5%	52	21.2%	80	8.8%
共同購入、食べ物の問題などの消費者活動	8	3.3%	31	3.4%	41	16.7%	47	5.2%
人材育成、産業振興などの活動	1	0.4%	2	0.2%	35	14.3%	35	3.8%
村づくりイベントの主催・協力・参加	5	2.0%	16	1.8%	55	22.4%	92	10.1%
行政の各種委員会等への参加	6	2.4%	19	2.1%	22	9.0%	31	3.4%
他地域に住んでいる人々との交流活動や国際交流	8	3.3%	25	2.7%	58	23.7%	94	10.3%
無回答	0	0.0%	448	49.2%	0	0.0%	352	38.7%

村づくり活動への参加状況・参加意向について、「参加している」との回答は、「伝統芸能や祭りなどの地域行事」が21.2%と、5.2ポイント増えています。

「今後、参加してみたい」との回答は、「趣味や教養、芸術などのグループ・団体活動」が44.5%と、22.4ポイント増え、「自然環境の保全や自然と親しむ活動」が37.6%と、16.5ポイント増え、「健康づくり、保健・医療、衛生などの保健活動」が27.8%と、16.4ポイント増え、「生涯学習講師や公民館活動などのボランティア活動」が20.8%と、14.8ポイント増え、「歴史・文化遺産保存活動」が23.3%と、14.4ポイント増えており、村づくり活動に参加したい意向は、全体的に増加しています。

問8 住民の活動を活発化するために必要なこと

	平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合
ボランティア活動の総合的な窓口を充実させる	69	28.2%	209	23.0%
ボランティアグループの活動の場を設ける	21	8.6%	78	8.6%
ボランティアグループ等の交流の場を設ける	20	8.2%	49	5.4%
NPOを立ち上げる	13	5.3%	74	8.1%
地域通貨の導入を図る	18	7.3%	62	6.8%
先進地への派遣など、研修の機会を設ける	15	6.1%	69	7.6%
その他	3	1.2%	26	2.9%
わからない	66	26.9%	196	21.5%
無回答	20	8.2%	147	16.2%

住民の活動を活発化するために必要なことについては、「ボランティア活動の総合的な窓口を充実させる」が28.2%と、5.2ポイント増えています。

問9 各地区の地域活動を活発化させるために必要なこと

	平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合
区や組の未加入者が参加しやすいイベントや祭りなどを充実し、交流を深める	55	22.4%	202	22.2%
子どもを中心とした若い人の地区活動を活発にし、魅力を高める	34	13.9%	136	14.9%
退職者や高齢者が中心となって地区活動を行い、若い人の負担を減らす	22	9.0%	83	9.1%
古いしきたりで、若い人にあわないものは押しつけない	60	24.5%	212	23.3%
区や組の未加入者に対して加入勧誘を行う	22	9.0%	65	7.1%
その他	8	3.3%	27	3.0%
わからない	35	14.3%	73	8.0%
無回答	9	3.7%	112	12.3%

各地区の地域活動を活発化させるために必要なことについては、大きな差異はみられません。



問10 農業振興のために力を入れるべきこと

	平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合
営農集団の育成や農業指導体制の強化	25	10.2%	120	13.2%
農業用施設の近代化	10	4.1%	57	6.3%
後継者の育成	90	36.7%	367	40.3%
施設園芸農業の振興	5	2.0%	102	11.2%
農地流動化（賃貸等）や農作業受委託などの促進による経営の拡大	41	16.7%	243	26.7%
特色ある農産物（有機栽培等）の開発・推進	59	24.1%	35	3.8%
農業生産法人の組織化の推進	12	4.9%	49	5.4%
体験農業、観光農業などの振興	49	20.0%	140	15.4%
農産物の加工、特産品の開発	45	18.4%	188	20.7%
現状のままでよい	10	4.1%	51	5.6%
わからない	32	13.1%	-	-
その他	3	1.2%	25	2.7%
無回答	9	3.7%	129	14.2%

農業振興のために力を入れるべきことについては、「特色ある農産物（有機栽培等）の開発・推進」が24.1%と、20.3ポイント増えています。

一方、「農地流動化（賃貸等）や農作業受委託などの促進による経営の拡大」が16.7%と、10.0ポイント減り、「施設園芸農業の振興」が2.0%と、9.2ポイント減っています。

問11 観光振興のために力を入れるべきこと

	平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合
村の自然や歴史・文化を活かした観光振興	86	35.1%	335	36.8%
観光農園など村の農業と連携した体験型観光の創出	74	30.2%	323	35.5%
インターネットやホームページなどを活用した誘客対策	34	13.9%	156	17.1%
旅行会社などとタイアップした積極的な誘客対策	24	9.8%	103	11.3%
道の駅ハイウェイオアシスのような、交流しながら販売できる産地直売所などの整備	64	26.1%	273	30.0%
前述の直売所以外の誘客に結び付く新たな観光施設の整備	5	2.0%	41	4.5%
民間の観光開発企業等も誘致した大規模な観光開発	11	4.5%	19	2.1%
観光開発をせずに自然環境の保全による観光振興	71	29.0%	125	13.7%
現在の観光施策のままでよい	9	3.7%	44	4.8%
その他	4	1.6%	21	2.3%
無回答	10	4.1%	121	13.3%

観光振興のために力を入れるべきことについては、「観光開発をせずに自然環境の保全による観光振興」が29.0%と、15.3ポイント増えています。

一方、「観光農園など村の農業と連携した体験型観光の創出」が30.2%と、5.3ポイント減っています。

問12 商業振興のために力を入れるべきこと

	平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合
小規模店の共同店舗化による新たな商業核づくりや小規模店の育成	27	11.0%	86	9.5%
地域の特産品などを販売する直売店などの育成・誘致	75	30.6%	219	24.1%
商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実	22	9.0%	72	7.9%
駐車場が整備された大規模な店舗（スーパーなど）の誘致	36	14.7%	146	16.0%
現状のままでよい	36	14.7%	196	21.5%
わからない	36	14.7%	-	-
その他	3	1.2%	20	2.2%
無回答	10	4.1%	171	18.8%

商業振興のために力を入れるべきことについては、「地域の特産品などを販売する直売店などの育成・誘致」が30.6%と、6.5ポイント増えています。

問13 工業振興のために力を入れるべきこと

	平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合
環境に配慮した優良企業の誘致	68	27.8%	298	32.7%
地域の特産品などを活用できる企業の誘致	53	21.6%	169	18.6%
既存企業の育成・振興	29	11.8%	85	9.3%
村内に点在する工場の集約	15	6.1%	43	4.7%
現状のままでよい	19	7.8%	146	16.0%
わからない	47	19.2%	-	-
その他	2	0.8%	10	1.1%
無回答	12	4.9%	159	17.5%

工業振興のために力を入れるべきことについては、「現状のままでよい」が7.8%と、8.3ポイント減っています。

問14 必要な村づくり

	必要である				する方がよい			
	平成22年		平成17年		平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
村の収入が増加するような努力	86	35.1%	387	42.5%	102	41.6%	212	23.3%
村の職員体制の合理化	64	26.1%	270	29.7%	84	34.3%	234	25.7%
村職員の資質の高度化	111	45.3%	387	42.5%	83	33.9%	260	28.6%
村の仕事の合理化や効率化	92	37.6%	341	37.5%	89	36.3%	272	29.9%
村の各種事業の縮減	69	28.2%	234	25.7%	79	32.2%	235	25.8%
戦略的な行政運営	55	22.4%	180	19.8%	71	29.0%	205	22.5%
住民の自助・共助	38	15.5%	168	18.5%	86	35.1%	249	27.4%
村の業務の一部を住民の手に移す	27	11.0%	128	14.1%	63	25.7%	226	24.8%
住民負担の増加	6	2.4%	47	5.2%	16	6.5%	46	5.1%
国も実効性のある節約策を講じるよう要請する	119	48.6%	402	44.2%	69	28.2%	191	21.0%

必要な村づくりについて、「必要である」との回答は、「村の収入が増加するような努力」が35.1%と、7.4ポイント減っています。「する方がよい」との回答は、「村の収入が増加するような努力」が41.6%と、18.3ポイント増え、「村の職員体制の合理化」が34.3%と、8.6ポイント増えています。

	するなら最小限に				必要ない			
	平成22年		平成17年		平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
村の収入が増加するような努力	16	6.5%	79	8.7%	4	1.6%	14	1.5%
村の職員体制の合理化	46	18.8%	156	17.1%	9	3.7%	31	3.4%
村職員の資質の高度化	12	4.9%	48	5.3%	3	1.2%	15	1.6%
村の仕事の合理化や効率化	18	7.3%	65	7.1%	3	1.2%	14	1.5%
村の各種事業の縮減	37	15.1%	145	15.9%	8	3.3%	27	3.0%
戦略的な行政運営	40	16.3%	152	16.7%	8	3.3%	52	5.7%
住民の自助・共助	49	20.0%	156	17.1%	12	4.9%	45	4.9%
村の業務の一部を住民の手に移す	58	23.7%	174	19.1%	25	10.2%	85	9.3%
住民負担の増加	108	44.1%	401	44.1%	71	29.0%	179	19.7%
国も実効性のある節約策を講じるよう要請する	10	4.1%	44	4.8%	3	1.2%	18	2.0%

「するなら最小限に」との回答は、「村の業務の一部を住民の手に移す」が23.7%と、4.6ポイント増えています。「必要ない」との回答は、「住民負担の増加」が29.0%と、9.3ポイント増えています。

	どれともいえない				無回答			
	平成22年		平成17年		平成22年		平成17年	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
村の収入が増加するような努力	11	4.5%	44	4.8%	26	10.6%	174	19.1%
村の職員体制の合理化	21	8.6%	47	5.2%	21	8.6%	172	18.9%
村職員の資質の高度化	12	4.9%	26	2.9%	24	9.8%	174	19.1%
村の仕事の合理化や効率化	16	6.5%	34	3.7%	27	11.0%	184	20.2%
村の各種事業の縮減	26	10.6%	77	8.5%	26	10.6%	192	21.1%
戦略的な行政運営	36	14.7%	106	11.6%	35	14.3%	215	23.6%
住民の自助・共助	33	13.5%	97	10.7%	27	11.0%	195	21.4%
村の業務の一部を住民の手に移す	44	18.0%	102	11.2%	28	11.4%	195	21.4%
住民負担の増加	20	8.2%	54	5.9%	24	9.8%	183	20.1%
国も実効性のある節約策を講じるよう要請する	16	6.5%	57	6.3%	28	11.4%	198	21.8%

## Ⅸ 自由意見

### 行政改革に対する意見（46件）

問15 行政改革についてあなたのご意見をお聞かせください

#### 行政・施策（20件）

- 意欲的な職員の登用や、育成のできる管理職の資質の高度化。
- 長い目で見て村にとってよい方法を考えてほしい。
- 行政改革という名前のみにとらわれて、金と手をかけなければいけないところを削除してしまうのはいかがなものか。パソコンで仕事をすれば事足りるということが現在の風潮としてあるが、役場の中もそのようになっていないか。パソコンに強い人間が仕事のできる人材、と考えられていないか。
- 公務員給与の削減と人数の削減。少ない人数で多く働くこと。
- 村議給与の日当化。村政に関わる者が自ら改革の意志を示し、村民に改革の方向を理解してもらう必要があるため。村理事者の給与も同等に考える。
- 住民サービスを切り捨てるような行政改革はとんでもないこと。住民サービス向上のための改革という視点を忘れずに。
- 現在の原村の行政サービスは他の市町村に比べてよい状況にあると思います。アンケートの上表に「する方がよい」が多いのは、改善が期待できるなら改善するのがあたり前だからです。ごみ処理は行政の基本的役割の一つであり、有料化には反対。他を削ってでも財源を確保すべきです。
- 行政改革は必要であるが、担う人材がいなければ実効性を上げることはできない。必要以上に職員体制の合理化や事業の縮減を図って、一部の職員や部局に一層負担がかかったり、逆に非効率化を招いたりしないよう、必要な人材や人数はしっかり確保してやってほしい。要は人であり、先を見通した計画にあると思う。
- 村議給料を半額に。「税金が高すぎて暮らしていけない」と商工会のある一員が悲鳴をあげておりました。
- 無駄な公共事業をなくすこと。近年行われた役場下の道に設置された外灯については、あまりにも数が多く無意味ではないかと感じます。そのような金があるならば、まだ未舗装の砂利道も多くあるので、こういったところに予算をまわしてほしいと思います。
- よくわからないけど、国のトップたちが変わらないとだめだと思う。
- 役場は区に丸投げしているように見える。住民税も払い、さらに区費までとる。おかしいと思う。納得いかない。区の廃止を希望します。
- 住民が住みやすいよう、改革することが一番だと思う。
- 削減のできる限りの努力。
- 小さな自治体であるからこそやりやすい改革があると思う。過去や他市町村の例にこだわることなく、思いきってやってもらいたい。
- 無駄の排除と効率化。職員ベースの引き下げ。職員は積極的に地域活動に参加すべき。
- 村の組織、意識の合理化や近代化。
- 村の無駄を徹底的に省くこと。村長の車など。
- 確実に可能なことから実行してほしい。

- 村や村民のためになることは前例、しがらみにとらわれなくて断行していただきたい。また、何が村民のためかよく見極めることも、今まで以上に厳しくお願いしたい。

---

### 役場・職員（5件）

---

- 質の向上、職員の資質の向上をお願いします。けんかで紙面を飾るのもどうか。ボランティアの育成も必要では。
- 村長や職員がもっと積極的に外出し、村の宣伝や売り込みをすることだ。議会は仕事をしていないのでもっと少なくてもよい。
- 何時に役場へ行っても来庁されている住民（お客様）は少なく、ひまを弄んでいる職員が多すぎる。村議や職員を3分の1位に縮小すべきである。人に頼るのではなく、自助共助を全村民が心掛けるべきである。
- こちらへ転入して3年弱なので行政に関してもよくわかりません。役場の窓口一つ取っても東京とついでに比べてしまうのですが、丁寧で親切な人が多く、ありがたいと思っています。結局、行政でも国の政治でも人間の個を大切にすることが地域おこしにつながり、住み心地のよい、人をやる気にさせる国づくりにつながっていくと思います。
- 問題のある職員は辞めさせるべきです。村の大切なお医者様にケガをさせておいて、3か月の休職だなんて軽すぎます。他にも、もしパワーハラスメントなどがあるようでしたら処分したほうが、これからの村のためにもなります。

---

### 高齢社会（5件）

---

- 私たちもこれから高齢者になっていくので、病院の医療費の問題を考えてほしい。介護の問題ももっと考えてほしい。バスのことも考えてほしい。
- 高齢者の医療費無料は廃止すべき。医療費無料を売りにして高齢者を移住させても、将来性は全くないと思う。
- 年齢的にああしよう、こうしようとは進まない日常である。
- 65歳以上で村内移住者の医療費など補助の条件を見直したほうがよいと思います。移住5年～10年後に医療費の無料化などしていかなないと村の財政がますます厳しくなると思います。
- 他県から転入してきた年金生活者です。医者に通院することが多くなってきました。この地で医療費が申請すれば戻ってくるのとことさっそく用紙をもらいに行きました。ありがたい制度だと思っています。自助共助が必要だと思うと同時に弱い者、力のない者への制度も大いに進めてほしいと思います。

---

### 事業仕分け（5件）

---

- 原村も、村民による事業仕分けなどを行ったほうがよい。
- 極端な話かもしれないが、事業仕分けのようなことを行って、先頭を切って節約をしていただきたい。税金は当然、今後も支払っていくが、少しでも「ああいうことをしてくれているから」などと思えるように結果を出してほしい。行政については素人なので素人でも納得のいく結果を求めたい。
- まだまだ無駄があると思う。事業仕分けを考えてください。
- 仕分けをする。
- 事業仕分けを公開の場で実施。

---

## 税金（４件）

---

- 税金が高い。生活が苦しくて困る。
- 住民負担もしっかり受けとめるように考えないといけない。
- 補助金をとることが役場の仕事なのか。すべて税金です。これではいつまでたっても借金は減らないでしょう。お金で解決することだけではないと思う。住民は自分でできることはできるだけして、村と協力し合い、話し合いを多くもつ。役場に用があるとき（どうしても必要な書類をもらわなくてはいけないなど）は足が重くなります。一部の方が感じ悪いです（その他公共施設も同様）。「ゆりの里」など元々の自然を壊して帰化植物を植えるようなことをしていない村を評価します。
- もうすでに財政悪化を理由に公務員が減らされすぎており、足りない人手をパートやアルバイトに頼り、不安定な人を増やしすぎていると思います。公務の場から雇用の質を上げ、社会の不安定雇用を増やさないようにし、税収を増やす努力をするべきだと考えます。

---

## 子育て支援（４件）

---

- 小さな子どもがいるので、子どもに対しての手厚い手当にはとても感謝しています。ただ、このままありがたからもらっておこうというのには、いずれ子どもたちが大人になったときに、財政的破綻があるのではないかという不安があります。見直すべきところは見直して、未来への希望がもてる原村を子どもたちに残せるような行政を望みます。
- 財政難のおり、様々な試みは必要で、今までの村政を見直すこともやむを得ずあると思います。その中で増税することを考えるのは、現状では仕方がないと思いますが、優先順位をつけて、子どもに関わること、老人福祉に関わることは慎重に議論してほしいと思います。すべてを民間に任せるのはあまりにも乱暴で、民間にできること、行政が行うことがそれぞれある。利益を追求する民間にはできないこと、行政にしかできないことがあると思うので。
- 住民の自助共助（地区の出払い、雪かきなど）を廃止し、村内土木業社に作業を委託したり、登録スタッフ制度をつくり、就労機会を増やしたり、村内事業社の健全化を推進する。自助共助により村民の経済活動が低下したらなんにもならない。雇用機会を村が増やし、失業率を低下させていくことが必要で、節約で村は躍進しない。ただ衰退し墓場村（ゴーストタウン）になるだけなのでは。子どもがいる家族（労働人口が増え、納税能力もあるから村が豊かになる）を増やす政治が必要。児童減少が部活動の衰退につながり子どものモチベーションの低下につながる。この負の連鎖をプラススパイラルに変換する発想が必要。
- 子育て支援は今までどおり続けてほしい。医療費の補助もこのままお願いします。

---

## 情報の周知（２件）

---

- 行政改革について、現状をどのような活動がなされているのか知る手段として、「広報はら」しかなく、書面での広報では具体的なイメージがわきにくい。一方通行の情報提供では伝わりにくい。
- サラダチャンネルが利用されていない。有線放送より活字のほうが見やすい。常時利用できると思う。

---

## ごみ（１件）

---

- 山の中に粗大ごみを捨てたりするごみの不法投棄など、わからなければいいという感じ。見回りの徹底をしてほしいです。

## 村づくりについての自由意見（83件）

問17 最後に、今後の村づくりについてのお考えやご意見を自由にお書きください。

### 行政・施策（17件）

- 右肩上がりでないで維持できない。資本主義的生活ではなく、現状で満足できる縄文時代的な発想が、これからの日本と地域には必要なのではないのでしょうか。
- 行政は村の人の中に入って、話を聞いたり、話し合いに参加しているか。会議を招集しても、参加者がいない、出席してこない、そちらの責任だという上から目線になっていないか。また、職員が萎縮してしまっているように思えるが、もっと、研修をし、自信をもって、生き生きと仕事ができる職場になっているのか。職員が生き生きとすることも基礎になるのではないかと思うが。
- 原村も赤字だと聞きましたが、何が原因か調べた方がよいと思います。また、国で決まったことですがヘルスのことで健康保険の方はできないそうですが、村で補助をだしてやってほしいです。なかなか病院には検査にいけません。お願いします。
- 住民と密に接していただきたいです。親切丁寧に。住民の上に立っている行政の顔がでている。気楽に庁舎に入れない。子どもに声かけが少ないのでは。
- 計画策定にあたっては、あらかじめ、評価計画を策定してください（評価方法、評価内容、評価委員会等）。原村の産業、活性化、景観に配慮。人材の育成と活用を進める。村を支えるのは人。歴史文化（有形、無形の）保存。育成（担う人）と原村の売りの材料とする。都市との交流。訪れたい村づくり。人の訪れは地域づくり（産業の育成につながる）。情報活動の充実（サラダ、広報他）。福祉、農林業の充実。付加価値化、ブランド化の一層の推進。
- 村の行政施策について。項目が多すぎて回答しているうちに、同じような内容ではと前肢を読みかえしてしまいます。もっと高齢者がわかるような項目にしばってほしい（細かすぎる）。役場の人数が多すぎるのでは。減らして効率的な作業をしてほしい。粗大ごみの収集場所が遠くて、車のない人は持っていけない。地域の中で設置してほしい（高齢者が多くなる中、持って行くのは困難かと思います）。
- こちらに転入してきて感心したことは、村の行政や施策が、住民本位を中心にしながら、住民の目に見える形で進行していることであった。これからも、原村の自然環境・歴史的文化遺産を大事にしながら、人に優しい人とのつながりを大切にする村づくりを進めてほしい。
- 自立を目指したこの村独特のカラーを出して、住みよい村にしてほしい。増える高齢者に対して介護サービス施設等の向上。
- 保育料の無料化は反対です。親が自分の子どもの責任を持って育てるという意識をしっかりとってもらいたいので。
- せっかく無作為抽出のメンバーに選ばれたのに、居住年数が短いこともあり十分な評価、コメントを付すことができなく申し訳ない。問15にも書きましたが。当村独自の行政改革を推進していただくことを期待しており、必要とあれば一住民として発言させてもらいたいとも考えております。
- 原村が、村として自立して行くためには、行政は何をすべきか、住民はどうすればよいのか。検討して行く必要がある。このアンケートにしても理想的な表現に終始しており、重要度の（1）が圧倒的に多ければたら財政はどうなるだろうか。

- 信頼されている先生がケガをしたと聞き、とてもショックでした。もしもこのことで先生が原村にガッカリされて、お辞めになるようなことがあれば、私は、ケガをさせた職員を許せません。1か月もたってからの処分もそうですが、身内に甘いと言われても仕方ありません。もしも、これ以上に大きくなっても、いじめや、嫌がらせ等があるのならば、各職員にアンケートをとって、ハッキリさせるべきだと思います。
- 災害対策をしっかりしてほしい。
- 細かいことはあまりわかりませんが、少しでも満足度がアップしていくよう努力してもらいたいと思います。
- 子育て中ですが、原村は育児サロン週3回2時間と他の地域と比べてとても少なく、他へ出向いています。ぜひ、そのような施設の拡大をお願いします。遊具の充実した公園もあるとありがたいです。
- 村議会の経費削減を積極的に進めてください。議員定数の見直し、議員の日当り制、単金の低減等の検討をお願いしたい。先ず村議会が率先して経費の削減を示してください。外来植物のオオハシゴキ草が繁茂しています。自然環境の保全を標榜する村としては問題である。土地所有者への依頼とフォローをお願いしたい。
- 財政の厳しい時代になりましたが、住民の所得も今後ますます低迷すると思います。事業を行うには予算が必要なことはもちろんですが、住民負担増のない財政にしてくださいよう、お知恵をしばってください。村政に関し素人ですが、原村は概ねよい印象を持っています。さらにみがきをかけて、どこにも負けない村になるよう願っています。

---

## 村づくり (15件)

---

- 原村にしかないものを見つけ育ててほしい。Iターンで原村に住む人に、村の決まりをよく説明し、守れない人には住んでほしくない。誰でも受け入れるのではなく、村民と調和できる人だけ住んでもらいたい。柏木は茅野に行くのに非常に不便になった。
  - 高齢者人口の増加は免れませんが、少しでも子ども、若者が増加するような原村になる取り組みを望みます。
  - 優良企業誘致をして行くこと。雇用促進を計る。若い人達が住みつく対策。子どもの教育の充実。老人の体力の促進。老人の体力支援。住民の健康づくり。
  - ますます原村発展のための努力。企業誘致、企業支援、大規模な店舗、金銭的に合ったスーパーの誘致など。住みやすい原村発展を願う。広報はらを全住民に配布。
  - 65歳以上の人口が全体の4分の1となり、2030年にはこれが3分の1に達するといわれています。年金に依存し、社会活動から離脱して若い年代に依存する人口が増えているが、こうした高齢者がもう一度ボランティア活動その他の社会貢献活動に参加し、若い年代の負担とならない環境を作っていくべきだと考えています。こうした人が人生経験を生かし、よきアドバイザーとして村づくりに参加できる体制を構築していきましょう。
  - 今以上によい村になってほしいです。頑張ってください。
  - 村、町、市、県と小さい村にとらわれず大きい考え方に作って行ってほしいと考えます。村から市へと計画を大きくしてください。希望です。
  - 引越しをしてきてまだ日が浅くよくわかりません。原村の特産物については商品名をもっと考えてみてはどうかと思う。ネーミングも大事だと思います。
  - 村民一人ひとりと村の環境を守るという基本理念を忘れずに村づくりを進めてほしい。
-



- あまり意見がなくすみません。むずかしかったです。どうぞよい村づくりをお願いします。ありがとうございました。
- 原村には著名な方々が在住、活躍されていると思われます。この方々をお願いして有料で年間講座プログラムを計画募集する。この方々との交流及び原村民の文化への意識向上を高めることができると思う。世田谷区では美術館が中心となり、このような活動が活発に行われているようです。〇〇大学という名前で各種講座がある。
- 村の医療費に対する対応は大変ありがたく思っています。日頃村のことについてあまり関心を持って考えたことがありませんでしたので、つたない意見で申し訳ありませんでした。
- 村政や村づくりについて、広報などをザッと見る程度の知識しかなく、今回のアンケートは知らないことばかりで答えにくいものもありました。ただ、今、移住者の区と既存の区とを分けるようになっています。私は、県外から来て中新田区に入れていただきました。子ども達も村の子と同じように育ててもらい、行事に参加させてもらいました。何より子ども達にとって大きな財産となったと思います。地区PTAの役員を通じて村の方々と知り合い、いろいろ教えていただき今まで原村の生活を楽しんできました。もちろん既存の区の方々がたくさんの役を持ち回り、地区の行事などに関わって、盛りたてていることもその時知り、村民の村に対する思いなども知りました。また、移住者に対する複雑な思いも耳にすることがありました。しかしここから交流が始まるのだと思います。何か行事を作って参加するより、中身の濃い交流ができたと思っています。できれば、今のまま中新田区民でいたいと思っています。もちろん、区の人々が移住民に対して思っている不都合となるものを解決する努力も必要ですが。
- 村民が心豊かに住めるよりよい村は、行政だけでなく、住民一人ひとりが協力できる時にしていく場所ではなくてはいけないとアンケートを通じて思いました。
- 活気のある未来の明るい希望の持てる原村にしてください。子ども達が帰ってきたい故郷であってほしいです。

---

### アンケートについて（12件）

---

- このアンケート調査を実施する趣旨はよくわかりますが、アンケート内容があまりにも幼稚だと思います。村として、こうして行きたいと方針を出し、それに対して村民の意見を聞く方向で検討してもらえたらよいと思いますが、このアンケート結果で後期総合計画を策定すると思うと幻滅してしまいます。
- この度は原村についての行政の意見や各種のアンケートの書類をいただきありがとうございます存じました。私は何しろ、93才の老人。今までは図書館や公民館等も利用させていただき、村での行事にも参加させていただきましたが、もう3・4年は1人では出席できず、村のことは何もわからず、意見、感想等は書くことが無理ですので、申し訳なく思っております。老人施設に週1回お世話になっています。色々と恵まれた村で本当にありがたく思っております。あしからず。
- 村の行政施策についてのアンケートですが、各項目に対して、現状について詳しい知識がない部分が多かったため、分からないところは満足度について「どちらともいえない」を選択しました。
- このアンケートは質問が多すぎ。高齢者には負担が大きかった。特に問16、119項目の数には最後まで目を通すだけでもつかれた。果たして正しい集計と村民の考え（意見）が伝わるとは思えないような気がした。
- 大変問いが多く、わかりにくい箇所もありました。はっきりしない所もありますが失礼いたします。
- 大変わかりにくいアンケートで答えづらかったです。

- 村づくりって何をするのか、このアンケートだと、さっぱりわからない。何をしたらよいか、わからなくて村民に聞いている感じがする。そうではなくて、「こういうことをしたいけど、どう思うか」とか「こういうことをすると何がメリットになってくるけど、デメリットはこういうことだ。それでもした方がよいと思うか」とか、もっと具体的なものが必要だと思う。結局、決めるのは役場とか上の人達だから、案を出して取り消されるとやる気を失う。「意見を出したって取り消されるなら、ださない方がまし」って普通の人ならなると思う。このアンケートの必要性を全く感じなかった。もし、今度アンケートをとるなら「今の村づくりの現状」とか、「これから何に力を入れていきたい」という上の人々の考えとか、「こういう例が上がっているけどどう思うか」とか、そこまで練ってから、村民の意見を聞くべきでは。村民は、お金とか規則の問題とかわからない人だから、そこは、そっちで決めないとだと思っただけであらう。
- アンケートが難しくわからない。
- アンケートについてですが、項目が多過ぎ。各項目の中味についてピンとこない。
- アンケートの量が多過ぎて大変です。たくさん項目があり、たくさん事業があることを知りました。安心して暮らせる活気のある原村であり続けたいと思います。原村にはよいところがたくさんあると思います。よい村づくりに期待しています。
- 設問が多過ぎます。
- 設問がお題目で具体的なイメージに欠けるものが多い。普通に村内に暮らしている人には理解できない設問が多い。担当者が机上でのみ考え、自分でも具体的にイメージできないものを無理矢理設問しているように思われる。設問の数がいかに多過ぎる。

---

## 地域・コミュニティ（10件）

---

- 組と常会の二重組織の一体化。常会中心の活動へ。
- 他地区より若者が転入しやすいよう、安い村営住宅を多く作った方がよいと思う。
- 入区されていない人達の不平等さを感じます。同じ地区に住みながら、雪かきとか、道路清掃とかその他、何一つ貢献せずいたみを分けあうこともせず不公平です。年金族に土地を誘致するより若い世代に土地を誘致してほしい。
- 観光協会の活性化を村主導で行ってほしい。ペンション主体で行動し、ペンション会員の会費が主な資源として活動している現状は時代にそぐわない。今のままでは協会は必然的に消滅するでしょう。経緯を見過してきた村や村長にも少なからず責任があります。
- 地元の人々と別荘族との融和をはかるべき。
- 80～119までの質問はむずかしい。専門用語が多く理解しにくい。わからない質問はどちらともいえないになってしまう。今、自分が村づくりに参加できるとしたら、自分の持っている趣味を伝える（教えられたら）こと。ボランティア活動です。ボランティアは原村の顔見知りの中ではやりたくないという思いです。消極的ですが現実問題としては気が進まない。原村に移住して15年程度なので別荘感覚でいるのかもしれない。
- 村づくりについては村民一人ひとりが少しずつでも関わりあい、協力しあっていくべきです。役員や、係の方だけに無理な負担が出ないように、みんなでやるべきことだと思います。人のことに無関心な今の現代人。そこから、かえるべきことかなと思います。できること。一つからはじめること。それと区、公民館や公の施設はもっと使用、利用するべきです。ただの箱もので終わらないように。
- 村の古い人々は人権無視が非常に多い。新参者に対して上からの目線で物をいう。不合理なことが多い。

- 近所迷惑などのトラブルがないような村づくりをしてほしい。
- 東京の郊外、多摩市から転入してきて3年になろうとしています。仮住居が払沢だった故か犬の散歩の途中で、畑で働いている私達はお話するチャンスが度々あり、上里に越してきても、むしろ地元の方達との交流の方が深く、仲良しも何人かできて、とても満足しています。高齢になって転入して来ましたので多くを望みませんが、地元の方々の知恵をいただいたり、都会の知恵を出し合ったりできる、囲炉裏端のようなミニコミュニティスペースなどの場づくりができたらと思っています。それも少人数の方が少しでも本音を出し合えるやすらぎの場であり長続きするのではと思います。年越し派遣村の村長も提唱していることなのですが、ゆとりのない現代に「ため」の場づくりが第一歩のような気がいたします。長野県内でも彼の運動に賛成して行動を起したグループがあることを新聞で知りました。一面、非常に豊かな部分のある原村が地理的に中央道一本で東京に近く、これからの世の中で生き抜くには助け合い、支え合いが基本だと思うので、積極的に彼のような都会で奮闘している活動家を支えることが村の存在のアピールにもなり、著者を呼び寄せるチャンスづくりにもなるのではないかと思います。

---

### 自然・環境問題（9件）

---

- 環境対策。大型トラクターによる道路への泥出しは徹底的に取り締まってもらいたい。池の水質悪化は特にひどくなっている。川上村等に比較し原村の農民のモラルはひどい。自分本位の考え方で全体をよくしようというこの考え方のレベルはひどい（公共）。マルチ等の不法投棄についても同じ。村が指導しても言うことを聞かない（一部農家）場合は保健所、警察等に訴えるべき。村の人口を増やす取り組みについて。計画的なまちづくりを望む。虫食いの開発では逆に原村の自然のよさが失われる。特に中央高原の森林地帯はひどい。自然保護、動物との住み分け、農業地帯との住み分け等。村税の収入を増やす施策、企業経営に近い村の経営を目指す。高齢者のボランティアでの活用施策。村議給与の日あたり化。他村町より先取りしてほしい。
- 原村に転宅してきてから早7年が過ぎた。予想していたよりも住み心地がよく、大満足している。夏は涼しく、冬も住宅に床暖房などの工夫をすると冬のつらさはほとんど感じない。豊かな自然、雄大で穏やかな景色、澄んだ空気、春・夏・秋・冬の季節の顔があり、環境としてはいいことがない。スーパーや病院も近くにあり、生活に不自由はなく、住むところとしては最適な地であると思う。これからの原村は、高齢者用の施設、住宅、別荘の普及にもっと力を注いでいった方がよいと思う。私は犬と泊まれるペンションに春・夏・秋とお泊りに毎年来ていたもので、すっかり原村に親しんでいた。永住するにはその前に原村と接点をもっていることが大切なので、そのためにも原村の観光化にも力を入れる必要があると思う。原村は農村地帯。これからの農業は重要である。食料は安心・安全面を考えても、自国でまかなうのが最も望ましい。原村は特にレタス、セロリー、園芸花で有名である。今までの細々とした農業経営を改めて、大組織化を計り、株式会社として、工場野菜などを大量生産する方向にもってゆくのベストであると思う。
- 都会にある物は都会に行けばよいし、都市化させるのは簡単であるが、自然を維持するのは大変なことだと思います。ですがこれからも自然の維持をしつつ発展することを継続していただきたいと思う。アルピコのバス（公共）ですが、あまり人が乗っていないにもかかわらず、狭い道を大きいバスで、たくさんの排気ガスを出して通るのはいかがなものかと考えます。いい加減、乗車数を過去のデータで割り出して、マイクロバスに転換し、維持費の削減等を申し出ただけでないか。闇雲に本数を減らすという答えは誰でも考えつきます。運転できない人達のこととも考えると早めに行動していただきたい。

- 住宅に関して、冬に近所のまきストーブの煙が屋内に入ってきてとてもくさく、迷惑している。まきストーブの家を建てる際には近隣住民の許可を必要としてほしい。洗濯物も煙のにおいがしみつき本当に腹立たしい。まきストーブの家は困る。区の廃止も希望する。
- 今、気になっているのは、ごみです。以前住んでいた地域では、燃えるごみと埋め立てごみには、容量によってお金（ごみ袋代とは別に、30リットルで1枚あたり45円、20リットルで1枚あたり30円、10リットルで1枚あたり15円）がかかり、資源回収でプラスチックごみ、金属、ビン、ペットボトル、新聞、ダンボール、紙類、牛乳パック、食品トレイ等がありましたので、ごみを削減といいつつも、正直、原村の方法には不満があります。特に金属（缶とか）とビンが埋め立てというのには、お金を捨てているような気持ちにさえなり、とても気持ちが重いです。今すぐに、といっても村民の皆様への周知徹底には地道な努力と時間がかかると、以前の土地でも感じたことですが、ぜひ取り組んでいただきたいと思います。
- 自然がとてもすばらしいので、ぜひ、維持されることを願っています。
- 原村は自然が豊かなことが一番の財産だと思っています。下手に壊して日本のどこに行ってもあるような場所にしたいくないのです。結局飽きられてしまうから。この自然を守ることが観光にもつながっていくと思います。大変私的なことですが、インターネットで公民館予約ができなくなったことはとても残念です。重宝していましたので。
- 原村の重要な財産として、景観があると思います。道路に看板の設置を許さないとの規制の効果があると感じます。建築物の色や質にも若干の規制を設けて、より積極的に景観を守ることを期待したい。
- わざわざ遠方から原村を訪問し、お金を落としてくれたり、家族で永住しようとしてくれる人々にとって、自然環境のすぐれていることはとても大きいポイントです。しかしながらこの数年、私が見たり、聞いたりする中で目立ってきたのは「反魂草」という、北米産の背の高い黄色い花の植物の大茂です。瀬も原も山肌もびっしり黄色でうめ尽くされ、もとの山野草が消え、おそろしい思いです。県によっては特に指定して退治に乗り出しているとのことですが、長野県は何もしていない。特に原村がひどいと観光関係者から指摘されます。農大の飼料から広がったのだと長野日報の記者は言います。どうか早い対策をお願いします。地元民や観光客のために岐阜県の「バーバズダイニング」のような店が原村にもできませんか。

---

## 道路・交通（8件）

---

- 他県から転入してきて自然豊かな環境や今の時期は気候もとても住みやすく思いますが、住宅の確保（村営住宅や賃貸が少なく、あっても高家賃）や公共機関への交通は不便に思いました。地域交流の面では、子どもがいれば子どもを通じて学校行事や地域活動に参加し、交流ができると思いますが、子どもがいなくなかなか参加する機会がありません。子どもがいなくても参加しやすい場や、行事を考えてほしいと思いました。ごみのリサイクル品目にアルミ缶を加えてほしいです。不燃物ごみを出す曜日と回収業者が来る曜日が違うように思いますが、もし違っていたら、同じ曜日にした方が、ごみを出す側も、違う曜日に出す人がいなくなると思います。
- 必要のない道路は、子どもの安全のためにも造らないでほしいです。
- 通学路の歩道確保の徹底。
- 高校生の通学（駅までの交通手段）のよい方法が早く確立されるといいと思う。青柳駅、すずらんの里駅への公共交通手段があるとよい。子どもと、お年寄りにやさしい村であってほしい。地デジになってもサラダチャンネルは続けてほしい。図書館のレイアウト（子ども絵本の図書の方）を見直してほしい。
- 村道の改修に力を入れてほしい。

- 観光地、移住の地として訪れる人の印象をよくするため、主要道路周辺は常に美しく整備されている必要があると思う。せっかく農業や観光等、売りになる物があるので、それらを上手く活かして多くの人に訪れてもらいたい。現在、高齢者の医療福祉が充実しており、他地域に誇れる状況にあると思う。ぜひ、このまま継続してほしい。
- はら村四季の写真コンテストについて。応募作品の著作権は主催者に帰属し（入選作品ならばわかるが、これではよい作品は集まらない）ケチケチではダメなのでは。社会福祉の資金がかかる高齢者や労働していない（納税能力のない）人口を増やしても、村が活性化するわけがなく、それよりも子ども教育支援に力を入れるべきだと思う。村内から高校へ通学するのに、それぞれの家庭で駅まで送り迎えしているが、村内数か所に駐輪場をつくり、電車のダイヤに合わせたスクールバス（一般村民も乗車可）運行等をし、それぞれの家庭の負担軽減と雇用機会の増加。また、排ガス排出量減少のエコ等の効果もあり、将来が明るくなる村づくりビジョンが必要。高齢化による就農離脱農家を支援するために、村がスタッフを募集し、希望農家にスタッフ派遣（例えば農家からは時給900円程度徴収し、時給50円程度村が補助し、スタッフに時給950円程度支払う等）。あと、このような細かいアンケートを回収するより、項目ごと、日々生活していて不便に感じることを、不満を聞いて、その対策アイデアを聞いたり、考える方がスマートなのでは。頭のよい人が考えることは複雑になるだけで、どうしたらシンプルになるかもっと考えた方がいいように感じました。村が元気になるように頑張ってください。秋のきのこ祭り（しこぼう祭り）大鍋できのこ汁をつくり、みんなで楽しむイベント。もみの湯に長さ1キロメートル、世界一長い足湯を作る。長さ1キロメートルのベンチ（世界一ギネス登録。話題を作る）等。星まつりは空がきれいでない夏より、秋にした方がいい。星空も冬の星座のほうがにぎやかで、空気が澄んでいてきれい。美術館を利用し、ハヶ岳芸術村。毎月、題テーマを決めて、全国の画家から出品を募集し、1か月間展示して、最終日曜日にオークションを開催する。出品者から出品料をいただき、売買成立時には、金額の数パーセントをいただき、誰でもオークション参加できるようにすれば、芸術家の支援にもなり、芸術村のイメージは村のグレードも上げるのでは（芸術家の聖地）。
- 永住型の人が増えており、高齢の人も多くなってきております。バスの増発、大型でなく、小型でどこでも停まってくれるようなバスがあったらよいと思います。例えば、戸口から戸口までとか、停留所を多くするとか、バス料金がとても高いので、もっと安くなるとなおります。諏訪中央病院の往復のバスがもっと多くあるとうれしいです。またJAなどのお店で有料でもいいのですが、高齢者や希望者などに宅配の制度があるとありがたいです。

---

## 情報（7件）

---

- サラダチャンネルを廃止してほしい。
  - 自然を大切にすることが一番の観光であり、村のさらなる発展につなげると思います。無駄な公園や河川敷の整備は必要なし。ただし、未舗装の道が多すぎるので、そのあたりはもう少し努力してほしい。また、下水道ももう少し整備してほしい。税金の使い道もしっかり考え、村民に問うなどし、正しく使ってほしい。
  - インターネットの回線普及が不良すぎる。LCVしか使えず、光回線も届いておらず、使えない。LCVは料金も高い、接続が遅い。医療も緊急性があったときに不安。交通アクセスも店舗数も不満。茅野へも富士見にも意外に遠く、わざわざ買い物をしに遠出するのが大変で不便。楽しい、魅力的なイベントや企画がほぼなく、お金がないなら茅野か富士見と合併すればよかったのに。
-

- 行政がどんな働きをしてくださっているか、今後も村民にわかりやすく伝えてほしい。村民の声を聞き入れてもらいながら村づくりに村民も参加していけるよう明るい行政であってほしいと思います。
- 有線放送の中身が長くて困る。内容を精選し要点的な放送にしてほしい。本アンケートだが、極めて〇をしにくい。また質問も多すぎ。本当に何を聞きたいのか不明。村職員の意識が昔ながらで、改革への意欲が乏しいと聞く（真相はわからない）。他市町から学ぶ点が多くあるのでは。
- 来年の7月に完全にデジタルになった時に、サラダチャンネルが観られないかもしれないという話を聞きましたが、子ども達の学校や保育園の様子、地区の行事など、今までと同じに観られるようにしてください。毎年8月15日の終戦記念日にはサイレンが鳴りますが、8月6日と8月9日の原爆投下時間にも1分間の黙祷をした方がいいと思うのですが。
- 毎週月曜日に有線で流れる音楽はやめてほしい。最近「郷土の歩み」という分厚い本が配られたが、興味のない者にとってはただの資源ごみしかならない。全戸配布しなくてもよいのではないかと。税金を無駄にしないでほしい。

---

## 農業（5件）

---

- 農業生産基盤と整備ができたのに利用されていない。農業後継者を村でもっと力を入れ育成援助してほしい。村にある財産をもっと有効利用してほしい。
- 原村は高原野菜がとてもおいしいので畑を市民農園として貸してください。私はとっても嬉しく思っております。もっと早くに借りて農業をやってみたかったと思っております。畑の空地进行を安い値でたくさんの方に貸してあげたらとっても喜ばれると思います。自然の豊かな原村を皆で守っていききたいですね。
- 原村の高原野菜と花の生産量は全国的にみてもトップクラスに値する。しかしそれだけでは原村の知名度は上がりません。やっぱり観光面に力を入れないと人は集まってきません。子ども、大人が遊びに来て、非常に楽しかった、また来て遊びたいと思うもの。3両連結トロッコを使って村内めぐり（有料化）。御柱を出発点として八ヶ岳農場、自然文化園、美術館、資料館、もみの湯、バーベキュー会場。
- 原村地域にも熊が出没するようになったのは、八ヶ岳の開発が進みすぎたのでしょうか。エルニーニョ現象により、高原野菜も作りにくくなりました。エコへの関心もこれからみんなでもっと深く考えたいと思います。農業の衰えた原村は考えられません。
- 農業あつての村なので道の駅等特色のあるものを一つ作ってほしい。カーリング場はよい方法だと思っていたが、作れずに残念に思っている。老人から若者に利用できたと思う。

■ 調査票





# あなたの声で原村が変わる！

## 『第4次原村総合計画後期基本計画』づくりに みなさんのご意見・アイデアをお寄せ下さい

みなさまには、日ごろから村行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

原村では、平成18年度より第4次原村総合計画「人も地域も輝く緑豊かな原村」に基づき村行政を進めてまいりました。計画策定から4年がたち、地方を取り巻く環境は大きく変化し、全国的に厳しい財政運営となっています。このような状況の中、現在、原村では後期基本計画（平成23年度～27年度）の策定を行っています。

つきましては、計画の策定に際し、住民のみなさんのお考えをお伺いする第一歩として、アンケート調査を実施することといたしました。このアンケート調査は満18歳以上の住民のみなさんから、無作為抽出によって700人を選ばせていただき、お考えを聴かせていただくものです。

アンケートの結果につきましては、集計し分析させていただき、他の目的に使用することは一切いたしませんので、目的・趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聴かせください。どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

平成22年8月

原村長 清水 澄

---

### \*\*\* ご記入にあたって \*\*\*

---

- 1 あなたご自身のお気持ちをありのままご記入ください。
- 2 お答えの方法は、設問ごとに「**○は1つだけ**」、「**○は2つまで**」などそれぞれ指定されていますのでご注意ください。
- 3 ○印は**番号**を囲むように**濃く**つけてください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、**8月20日（金）までに同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函ください。**
- 5 このアンケートについてのお問い合わせは下記へお願いします。

<お問い合わせ先>

原村役場村づくり戦略推進室企画係（担当：伊藤・小林）

電 話 79-7942（直通）

FAX 79-5504

E-mail kikaku@vill.hara.nagano.jp

## I はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。

あなたの性別	1 男 2 女
あなたの年齢	1 18～20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代 5 60歳代 6 70歳代 7 80歳代以上
あなたの職業 (○は主なもの1つ)	1 農林業 (ほとんど専業) 2 製造業 3 建設業 4 商業 (小売・卸売・飲食) 5 サービス業 6 運輸・通信業 7 公務員 8 家事・無職 9 学生 10 その他 ( )
あなたの勤務先・就学先 (○は主なもの1つ)	1 村内 2 茅野市 3 富士見町 4 諏訪市 5 下諏訪町 6 岡谷市 7 その他 ( )
あなたの出身地	1 原村出身で、ずっと住んでいる 2 原村出身だが、村外での居住経験がある 3 県内の他の市町村から転入してきた 4 県外・国外から転入してきた 5 その他 ( )
あなたの所属地区	1 大久保      2 柳沢      3 八ツ手      4 払沢 5 柏木      6 菖蒲沢      7 室内      8 中新田 9 南原      10 判之木      11 上里      12 やつがね 13 ペンション      14 農場      15 原山      16 なし

## II 原村の住民サービスや生活環境についてお伺いします。

問1 あなたは、これからも原村に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

1 住み続けたい	2 どちらかと言えば住み続けたい
3 どちらかと言えば住みたくない	4 住みたくない(できれば村外へ引越したい)
5 どちらともいえない	

問1で「3」または「4」を選んだ方にお尋ねします。

問1-2 そう思う理由はなんですか。(○は2つまで)

1 寒冷地で自然環境が厳しい	2 買い物など生活の利便が悪い
3 道路や交通の利便が悪い	4 行事や近所づきあいなどが面倒
5 子どもの教育のことが心配	6 安定した職場がないから
7 医療や福祉施設が不足している	8 適当な住宅地が確保しにくい
9 スポーツ、レジャー、文化施設などが少ない	
10 その他 ( )	

問2 あなたは、原村の行政施策全般について、どの程度満足していますか（○は1つだけ）

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 満足している    | 2 やや満足している |
| 3 どちらともいえない | 4 やや不満である  |
| 5 不満である     |            |

問3 原村の行政で、今後、特に力を入れてほしいと思われるのは何ですか。（○は5つまで）

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1 自然環境保護の対策                          |
| 2 景観・デザインに配慮した村づくり                   |
| 3 住民参加型の行政の推進                        |
| 4 区・自治会の活動やコミュニティ活動の活性化対策            |
| 5 若者の定住促進対策の推進                       |
| 6 バスなど公共交通の利便性の向上                    |
| 7 道路交通網の整備                           |
| 8 水道施設の整備                            |
| 9 公共下水道の整備                           |
| 10 公園やいこいの広場などの整備                    |
| 11 インターネットの活用やCATV（サラダチャンネル）など情報化の推進 |
| 12 ごみ収集・回収（再利用）体制の充実                 |
| 13 保健・医療施設や健康相談、健康診査等の体制の整備          |
| 14 高齢者や障がい者などの福祉施設や医療費などの福祉施策の整備     |
| 15 子どもの保育体制の充実や子育て支援対策の充実            |
| 16 農林業の振興対策                          |
| 17 工業の振興対策                           |
| 18 商業の振興対策                           |
| 19 観光の振興対策                           |
| 20 消防・防災体制の充実                        |
| 21 公民館などの生涯学習施設の整備                   |
| 22 スポーツ・運動施設の整備                      |
| 23 学校教育施設や内容の充実                      |
| 24 男女共同参画社会づくりの推進                    |
| 25 国際交流や地域間交流活動の充実                   |
| 26 周辺市町村との広域的連携と事業の推進                |
| 27 その他（ )                            |

### Ⅲ 住民のみなさんと役場の関わり方についてお伺いします。

問4 あなたは、村からどのような内容の情報がほしいですか。（○はいくつでも）

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 村内のイベント情報   | 2 近隣市町村のイベント情報 |
| 3 村づくりの方針・計画  | 4 村づくりの進行状況    |
| 5 村の財政状況      | 6 村内のグループ活動の情報 |
| 7 各種行政サービスの情報 | 8 議会で議論されている内容 |
| 9 その他の情報（ )   |                |

問5 あなたは、村からの情報の伝達手段として今後どのようなものを充実していくべきだと考えますか。(○は1つだけ)

- |                            |
|----------------------------|
| 1 「広報はら」の紙面によるお知らせ         |
| 2 有線放送などによる音声のお知らせ         |
| 3 C A T V (サラダチャンネル) など映像  |
| 4 原村ホームページなどインターネットによるお知らせ |
| 5 村政懇談会など直接住民のみなさんとの対話     |
| 6 その他 ( )                  |

問6 あなたは、どのような形で村づくりに参加したいと思いますか。(○は2つまで)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1 役場や議会に積極的に提案したり要望していききたい         |
| 2 地域での話し合いや討議の場に参加していききたい          |
| 3 村づくりのグループなどに参加して活動したい            |
| 4 ボランティア活動を通して村づくりに参加したい           |
| 5 村づくりに参加したいと思っているが、機会やタイミングがつかめない |
| 6 特に参加したいと思わないし、役場に任せればよいと思っている    |
| 7 その他 ( )                          |

#### IV 住民のみなさんの参画による村づくりについてお伺いします。

問7 村づくり活動についてお聞きします。何らかのグループや組織に加わって、村づくり活動に参加していますか。また、今後、参加してみたい活動はありますか。(○はいくつでも)

	現在、参加している	今後、参加してみたい	参加を希望しない
<b>【記入例】子育てボランティア活動</b>	1	2	3
1)区や組の活動(コミュニティ活動)	1	2	3
2)伝統芸能や祭りなどの地域行事	1	2	3
3)保育園・学校(P T A活動など)の行事	1	2	3
4)子ども会やスポーツ少年団、青少年健全育成活動	1	2	3
5)青年グループ・団体活動	1	2	3
6)女性グループ・団体活動	1	2	3
7)老人クラブ活動	1	2	3
8)商工会や農林業団体などの活動	1	2	3
9)農作業や森林ボランティア、特産品づくりなどの活動	1	2	3
10)各種スポーツ活動	1	2	3
11)趣味や教養、芸術などのグループ・団体活動	1	2	3
12)歴史・文化遺産保存活動	1	2	3
13)生涯学習講師や公民館活動などのボランティア活動	1	2	3
14)子どもの遊びや教育などのボランティア活動	1	2	3
15)健康づくり、保健・医療、衛生などの保健活動	1	2	3
16)子育てボランティア活動	1	2	3
17)高齢者や障がい者へのボランティア活動	1	2	3
18)自然環境の保全や自然と親しむ活動	1	2	3
19)公園等の維持・管理などのボランティア活動	1	2	3
20)環境美化活動やごみ減量、リサイクル活動	1	2	3
21)共同購入、食べ物の問題などの消費者活動	1	2	3
22)人材育成、産業振興などの活動	1	2	3
23)村づくりイベントの主催・協力・参加	1	2	3
24)行政の各種委員会等への参加	1	2	3
25)他地域に住んでいる人々との交流活動や国際交流	1	2	3

問8 住民の様々な活動を活発にするため、どういったことが必要だと思いますか。(○は1つだけ)

- |   |                       |   |
|---|-----------------------|---|
| 1 | ボランティア活動の総合的な窓口を充実させる |   |
| 2 | ボランティアグループの活動の場を設ける   |   |
| 3 | ボランティアグループ等の交流の場を設ける  |   |
| 4 | NPO(注1)を立ち上げる         |   |
| 5 | 地域通貨(注2)の導入を図る        |   |
| 6 | 先進地への派遣など、研修の機会を設ける   |   |
| 7 | その他(                  | ) |
| 8 | わからない                 |   |

※ 言葉の説明

注1 NPO・・・Nonprofit Organizationの略。民間非営利組織。活動の中で得た利益を団体の活動目的のための費用に充てることにより非営利的に運営される組織。

注2 地域通貨・・・互いに助けられ支え合うサービスや行為を、時間や点数、地域やグループ独自の紙券などに置き換え、これを「通貨」として、サービスやものと交換して循環させる仕組み。

問9 各地区の地域活動(地域維持活動や助け合い)を活発にするためには、どういったことが必要だと思いますか。(○は1つだけ)

- |   |                                     |   |
|---|-------------------------------------|---|
| 1 | 区や組の未加入者が参加しやすいイベントや祭りなどを充実し、交流を深める |   |
| 2 | 子どもを中心とした若い人の地区活動を活発にし、魅力を高める       |   |
| 3 | 退職者や高齢者が中心となって地区活動を行い、若い人の負担を減らす    |   |
| 4 | 古いしきたりで、若い人にあわないものは押しつけない           |   |
| 5 | 区や組の未加入者に対して加入勧誘を行う                 |   |
| 6 | その他(                                | ) |
| 7 | わからない                               |   |

## V 原村の産業振興対策についてお伺いします。

問15 あなたは、村の農業振興のために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。  
(○は2つまで)

- |                                  |                  |
|----------------------------------|------------------|
| 1 営農集団の育成や農業指導体制の強化              | 2 農業用施設の近代化      |
| 3 後継者の育成                         | 4 施設園芸農業の振興      |
| 5 農地流動化（賃貸等）や農作業受委託などの促進による経営の拡大 |                  |
| 6 特色ある農産物（有機栽培等）の開発・推進           |                  |
| 7 農業生産法人の組織化の推進                  | 8 体験農業、観光農業などの振興 |
| 9 農産物の加工、特産品の開発                  | 10 現状のままでよい      |
| 11 わからない                         | 12 その他（ )        |

問16 あなたは、村の観光振興のために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。  
(○は2つまで)

- |   |
|---|
| 1 村の自然や歴史・文化を活かした観光振興   |
| 2 観光農園など村の農業と連携した体験型観光の創出                                     |
| 3 インターネットやホームページなどを活用した誘客対策                                   |
| 4 旅行会社などとタイアップした積極的な誘客対策                                      |
| 5 道の駅（道路利用者の休息所）やハイウェイオアシス（高速道路休息所）のような、交流しながら販売できる産地直売所などの整備 |
| 6 上記の直売所以外の誘客に結びつく新たな観光施設の整備<br>(⇒具体的に )                      |
| 7 民間の観光開発企業等も誘致した大規模な観光開発                                     |
| 8 観光開発をせずに自然環境の保全による観光振興                                      |
| 9 現在の観光施策のままでよい   |
| 10 その他 ( )  |

問17 あなたは、村の商業振興のために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。  
(○は1つだけ)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1 小規模店の共同店舗化による新たな商業核づくりや小規模店の育成 |
| 2 地域の特産品などを販売する直販店などの育成・誘致       |
| 3 商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実   |
| 4 駐車場が整備された大規模な店舗（スーパーなど）の誘致     |
| 5 現状のままでよい                       |
| 6 わからない                          |
| 7 その他 ( )                        |

問18 あなたは、村の工業振興のために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。  
(○は1つだけ)

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1 環境に配慮した優良企業の誘致 | 2 地域の特産品などを活用できる企業の誘致 |
| 3 既存企業の育成・振興     | 4 村内に点在する工場の集約        |
| 5 現状のままでよい       | 6 わからない               |
| 7 その他 ( )        |                       |

## VIII 村の行財政についてお伺いします。

問19 国の財政悪化により、村への補助金や地方交付税のさらなる削減が予想され、今後、財政が厳しい中で自立した村づくりを進めていく必要があります。その方法として考えられる主なものを下の枠の中に示しました。あなたはどのようにお考えですか。(○はそれぞれ1つずつ)

	必要である	する方がよい	するなら最小限に	必要ない	どれもいえない
【記入例】国も実効性のある節約策を講じるよう要請する	1	2	3	4	5
1)村の収入が増加するような努力(若者定住促進、企業誘致、起業支援、村内消費拡大等による循環型経済の促進など)	1	2	3	4	5
2)村の職員体制の合理化(機構簡素化、人数縮小、パート・アルバイト化、外部委託、周辺市町村との共同処理など)	1	2	3	4	5
3)村職員の資質の高度化 (専門知識・技術の向上、意欲的な職員の登用など)	1	2	3	4	5
4)村の仕事の合理化や効率化 (情報化、煩雑な手続や規制の廃止、事務の合理化など)	1	2	3	4	5
5)村の各種事業の縮減 (効果の薄い事業の廃止、入札制度の改善など)	1	2	3	4	5
6)戦略的な行政運営 (事業の優先順位の厳選、行政評価、重要事業への集中投資など)	1	2	3	4	5
7)住民の自助・共助(住民が自分でできることは自分ですという考えによる住民と行政の役割分担の明確化、区の業務拡大など)	1	2	3	4	5
8)村の業務の一部を住民の手に移す(住民による施設管理・運営、ボランティア・NPOによるサービス提供など)	1	2	3	4	5
9)住民負担の増加(増税、諸料金の値上げ、補助金削減など)	1	2	3	4	5
10)国も実効性のある節約策を講じるよう要請する	1	2	3	4	5

問20 行政改革についてあなたのご意見をお聞かせください

IX 村の行政施策についてお伺いします。

問21 次の項目についての、満足度と重要度（必要度）を教えてください。（○はそれぞれ1つずつ）

		満足度					重要度（必要度）					
		満足 ← → 不満					重要 ← → 不要					
		非常に満足である	やや満足である	どちらともいえない	やや不満	非常に不満	特に重要である	少し重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	
【記入例】救急救助体制の充実		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
人と自然を大切にしたい住みよい村づくり	1	自然環境の保全と共生	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2	美しい環境の保全と創出	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3	緑と花いっぱい運動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4	村内を美しく、川を汚さない運動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5	環境にやさしい公共事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6	公害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7	ごみの排出抑制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8	ごみ処理体系の広域化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9	リサイクルと循環型社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10	環境と農業のかかわり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11	地域新エネルギー利用の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12	省エネルギーへの取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13	水資源の確保と調整	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14	給水施設の整備と施設の有効利用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15	水質保全と生活排水浄化施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16	下水道事業の運営管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17	住宅用地の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18	住宅対策の拡充	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19	各種規制の検討	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20	集落環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21	自然とマッチした公園・緑地・水辺空間の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22	道路体系の再編成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23	主要地方道・県道の整備促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24	村道の整備促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	25	交通安全と道路環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26	交通安全教育の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27	公共交通機関の整備拡充	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28	高速バス利用対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



		満足度					重要度（必要度）					
		満足 ← → 不満					重要 ← → 不要					
		非常に満足である	やや満足である	どちらともいえない	やや不満	非常に不満	特に重要である	少し重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	
29	広域消防体制の確立	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
30	常備消防体制及び消防力の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
31	消防団の消防力強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
32	地域防災体制の確立	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
33	消防・防災意識の高揚	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
34	救急救助体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
35	地域安全体制の確立	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
36	治山事業と河川改修の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
人と文化を育む村づくり	37	生涯学習機会の提供と支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	38	図書館施設の充実と利用促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	39	村づくりを担う人材の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	40	社会教育関係団体の支援・育成・施設の活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	41	家庭教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	42	地域に育つ子どもたち	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	43	人権教育の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	44	学校施設の整備充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	45	教育内容・方法の改善充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	46	地域社会との連携による教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	47	各教育機関の振興と小・中学校との連携	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	48	芸術・文化活動の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	49	遺跡の保存・整備と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	50	文化財の保存と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	51	体育・スポーツ施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	52	公園や広場の有効活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	53	地域スポーツ指導者の育成と指導体制の確立	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	54	生涯スポーツの普及	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	55	社会体育団体・グループ等の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	56	地域間交流の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	57	国際交流の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	58	男女共同参画推進体制の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

		満足度					重要度（必要度）					
		満足 ← → 不満					重要 ← → 不要					
		非常に満足である	やや満足である	どちらともいえない	やや不満	非常に不満	特に重要である	少し重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	
健康としあわせを誇れる福祉の村づくり	59	住民主体の積極的な健診受診と、結果を活かした健康づくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	60	自らの問題に「気づく」ことができる栄養・食生活の改善	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	61	個人の健康状態に応じた運動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	62	こころの健康維持と休養の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	63	地域ぐるみで喫煙防止とアルコールについての知識の普及	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	64	歯の健康の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	65	地域医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	66	住み慣れた地域で生活していくための在宅介護の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	67	健康でいきいきした生活を送るための保健予防・啓発の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	68	自らの選択・自己決定で福祉サービスを利用する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	69	高齢者の社会参加の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	70	福祉の充実と社会参加の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	71	日常生活の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	72	参画できる地域社会の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	73	親子の健康増進と福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	74	子育てと仕事が両立できる環境づくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	75	地域における子育て支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	76	医療保険制度の健全運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	77	年金制度の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
78	消費生活の安全と向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
79	住民相談の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
環境と共生した活力ある村づくり	80	農業生産基盤の整備と農業近代化施設の充実と利用促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	81	農用地の保全と高度利用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	82	主要農畜産物の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	83	農産物の付加価値化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	84	農業労働力の確保と農業後継者の育成・援助	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	85	農業生産組織の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	86	地域林業の振興と森林の育成・有効活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	87	住民参加による体験型観光の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	88	農業との連携による活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

		満足度					重要度（必要度）					
		満足 ← → 不満					重要 ← → 不要					
		非常に満足である	やや満足である	どちらともいえない	やや不満	非常に不満	特に重要である	少し重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	
89	森林を活用した観光振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
90	各種地域資源を活用した活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
91	観光推進体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
92	観光バス利用対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
93	観光拠点の再生とネットワークの整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
94	星・音楽をテーマとした観光ブランド	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
95	既存企業の支援と育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
96	優良企業の立地促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
97	商業経営の近代化・活性化の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
98	他産業との連携による商業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
99	雇用対策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
計画推進の方策	100	住民参画による村づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	101	生涯学習を基本とした村づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	102	コミュニティ活動の自主的取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	103	地域通貨に関する検討	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	104	広報活動の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	105	広聴活動の拡充	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	106	有線放送事業の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	107	ホームページを活用した住民サービスの向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	108	インターネットを活用した活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	109	住民の情報能力の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	110	情報の公開	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	111	個人情報の保護	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	112	広域行政による統一のとれた活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	113	広域行政による効率的な行政運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	114	組織機構の改革	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	115	人事管理と職員能力の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	116	事務内容の合理化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	117	税源の確保と公平な課税	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	118	時代に適応した効率的な財政運営の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
119	財政の基盤強化と効率的な財政運営の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

問22 最後に、今後の村づくりについてのお考えやご意見を自由にお書きください。

大変お忙しいところ、貴重なご意見をお聴かせいただき、誠にありがとうございました。

村では、今回みなさんからいただきましたご意見をもとに『第4次原村総合計画後期基本計画』の策定を進めて参ります。このアンケートの集計結果については、11月に村広報紙やホームページなどで公表したいと考えています。

なお、この計画は来年（平成23年）3月に完成する予定です。

今後、住民のみなさんにご参加いただく機会を設け、できるだけ多くの方と一緒に計画策定を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

ホームページアドレス（URL） <http://www.vill.hara.nagano.jp/>

**同封の返信用封筒に入れ、8月20日（金）までにポストへ投函ください。**